

男女ハートフル共生プラン  
～茂原市男女共同参画計画（第4次）～

令和4年度事業評価報告書

茂原市男女共同参画社会づくり推進委員会  
茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会

# 目次

- ◆ はじめに . . . 1
- ◆ 1. 茂原市男女共同参画計画（第4次）推進体制 . . . 1
- ◆ 2. 茂原市男女共同参画計画（第4次）の評価の方法 . . . 3
- ◆ 3. 事業評価スケジュール . . . 4
- ◆ 4. 茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会からの提言・要望  
. . . 5
- ◆ 令和4年度事業一覧 . . . 6
- ◆ 事業評価シート No.1～48 . . . 9

## はじめに

今日、少子高齢化が過去に例を見ないほどのスピードで進展し、また、市民生活を取り巻く社会経済環境は目まぐるしく変化しています。労働形態や家族形態も様変わりし、個々のライフスタイル・価値観も多様化しています。このような中、性別にとらわれずお互いを尊重し合い、一人ひとりが職場・家庭・地域等において責任と喜びを分かち合う「男女共同参画社会」の実現は、わが国における最重要課題の一つとされています。

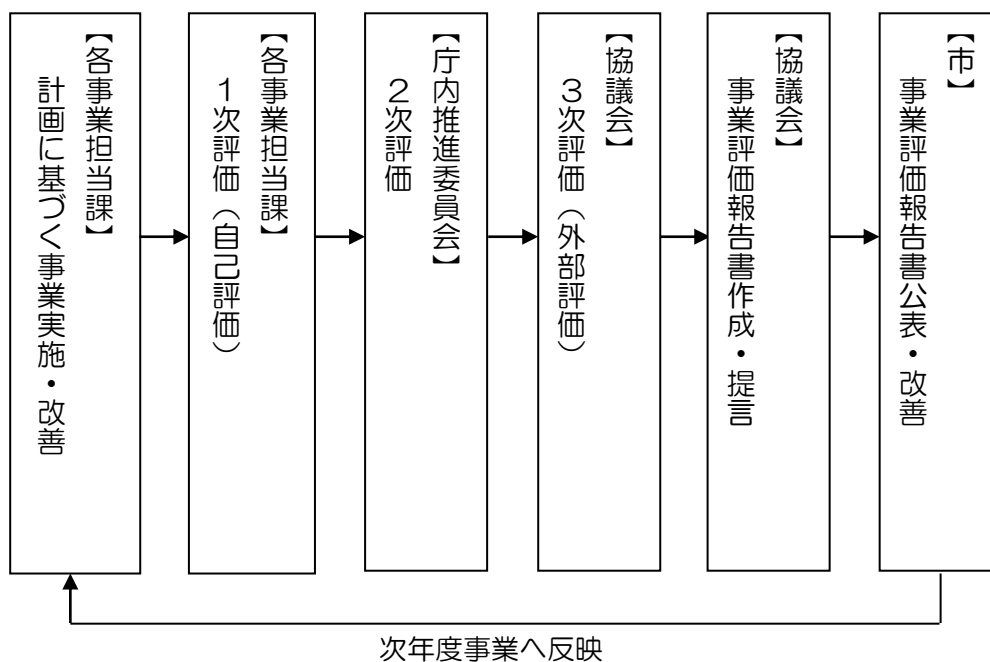
茂原市では、令和3年3月に「男女ハートフル共生プラン～茂原市男女共同参画計画（第4次）～」を策定し、男女共同参画施策の推進に取り組んでおります。

計画の進行管理については、毎年度、事業の進捗状況について、担当課による1次評価（自己評価）、庁内組織である「茂原市男女共同参画社会づくり推進委員会（以下、「推進委員会」という）」による2次評価及び市民で構成される「茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会（以下、「協議会」という）」による3次評価（外部評価）を実施しています。外部評価を行うことにより、評価の透明性が確保され、市民目線も取り入れた男女共同参画施策がさらに効果的に推進されることが期待できます。

この「令和4年度 事業評価報告書」は、計画に掲げる施策を推進するため、プランに掲げた各事業の「実施結果及び次年度の取り組み」とともに推進委員会及び協議会が行った事業評価を一体的に掲載したものであり、各事業担当課において施策の見直しや方向性について協議・検討を行い、次年度以降の取り組みに反映できるようにすることを目指し提言するものです。

## 1. 茂原市男女共同参画計画（第4次）推進体制

### ◆ 茂原市男女共同参画計画 推進体制連携図



◆「茂原市男女共同参画社会づくり推進委員会」(庁内組織) 16名

茂原市男女共同参画計画(第4次)に基づく施策の進行管理と男女共同参画に関する意識啓発を行う、市役所内各部から男女1名ずつ選出された委員で構成される委員会

<茂原市男女共同参画社会づくり推進委員会委員>

氏名	所属	役職
麻生 ゆりえ	総務部	
酒井 幸雄		
岡本 周子	企画財政部	
堰代 淳哉		
堀口 悠介	市民部	
関谷 友花		
井田 直希	福祉部	
腰川 陽子		
鈴木 波	経済環境部	
川崎 慶崇		
高橋 憲	都市建設部	
渡邊 永里子		
中村 香織	教育部	
渡邊 直哉		
御園 健一	議会・農業委員会・選挙管理	委員長
東間 典子	委員会・監査委員 事務局	副委員長

【任期1年：令和5年4月1日～令和6年3月31日】

◆「茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会」(外部組織) 10名

茂原市における男女共同参画社会の実現を目指し、男女共同参画の総合的推進を図る組織として市民で構成された協議会

<茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会委員>

氏名	役職	区分
大塚 節子	会長	学識経験者
丸岡 一人	副会長	一般公募
藍 正幸	委員	関係諸団体の代表者
森川 礼子	委員	関係諸団体の代表者
及川 哲子	委員	一般公募
白土 和子	委員	一般公募
永沼 洋子	委員	一般公募
上村 俊一	委員	一般公募
横堀 明子	委員	一般公募
寺田 三千代	委員	一般公募

【任期2年：令和5年4月1日～令和7年3月31日】

## 2. 茂原市男女共同参画計画（第4次）の評価の方法

「茂原市男女共同参画計画（第4次）」では、男女共同参画を推進するため、市が取り組むべき事業として48事業を掲げ、34事業について指標（数値目標）を設けています。基本計画の進捗状況の評価にあたっては、事業担当課による1次評価（自己評価）、庁内組織の「男女共同参画社会づくり推進委員会」による2次評価を行い、続いて、外部組織である「茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会」が3次評価（外部評価）を行い、「令和4年度事業評価報告書」としてまとめました。

### ①評価の方法

評価者	判定区分
<p><b>1次評価（総合評価）</b></p> <p><b>【各事業担当課】</b> 茂原市男女共同参画計画（第4次）に掲げられた事業について、「事業評価シート」により <u>1次評価（自己評価）</u> を実施</p>	<p><b>【総合評価基準】</b></p> <p>A：十分な成果を上げた （達成度8割以上）</p> <p>B：ある程度の成果を上げた （達成度4割～7割）</p> <p>C：事業の見直しが必要 （達成度3割以下）</p>
<p><b>2次評価（総合評価）</b></p> <p><b>【茂原市男女共同参画社会づくり推進委員会】</b> （市役所内組織） 全事業について、事業担当課から提出された「事業評価シート」により <u>2次評価</u> を実施</p>	<p><b>【項目評価基準】</b></p> <p>4：十分達成している （90%以上）</p> <p>3：概ね達成されている （70%以上）</p> <p>2：達成が半ばであり改善を要する （50%以上）</p> <p>1：不十分である （50%未満）</p>
<p><b>3次評価（総合評価・項目評価）</b></p> <p><b>【茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会】</b> （外部組織） 推進委員会の評価後、「事業評価シート」により <u>3次評価</u> を実施</p>	<p>4：十分達成している （90%以上）</p> <p>3：概ね達成されている （70%以上）</p> <p>2：達成が半ばであり改善を要する （50%以上）</p> <p>1：不十分である （50%未満）</p>
<p>事業評価報告書を作成し、市へ提出</p>	

### 3. 事業評価スケジュール

#### 茂原市男女共同参画社会づくり推進委員会

- ◆第1回（令和5年5月26日開催）
  - ・委員長、副委員長の選出
  - ・茂原市における男女共同参画の取り組みについての研修
  - ・令和4年度事業評価
- ◆第2回（令和5年6月12日開催）
  - ・令和4年度事業評価
- ◆第3回（令和5年6月20日開催）
  - ・令和4年度事業評価

#### 茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会

- ◆第1回（令和5年4月24日開催）
  - ・委嘱及び会長、副会長の選出
  - ・茂原市における男女共同参画の取り組みについての研修
  - ・令和4年度事業評価
- ◆第2回（令和5年8月2日開催）
  - ・令和4年度事業評価
- ◆第3回（令和5年8月30日開催）
  - ・令和4年度事業評価
- ◆第4回（令和5年9月27日開催）
  - ・令和4年度事業評価
- ◆第5回（令和5年10月25日開催）
  - ・令和4年度事業評価
- ◆第6回（令和5年11月29日開催）
  - ・令和4年度事業評価
- ◆第7回（令和6年1月17日開催）
  - ・令和4年度事業評価
- ◆第8回（令和6年2月9日開催）
  - ・令和4年度事業評価

## 4. 茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会からの提言・要望

### (1) 事業評価結果と今後について

令和4年度も、令和元年度より続く新型コロナウイルスの感染が終息することなく、多くの事業においてその達成が困難な状況にありました。しかし、そのような中でも感染症予防対策を行いながら工夫して出来ることを行い、大部分の事業において結果を出すことが出来ました。担当課の皆さんの努力の賜と敬意を表します。

幸い令和4年度も災害による被害は少なく、行政、市民生活等に大きな影響はありませんでしたが、年々増加している災害や感染症等の影響も踏まえてさらなる事業の見直しが必要です。オンラインやSNSの利用など工夫して取り入れたことは、継続して実行されることを望みます。

令和4年度事業評価については、その結果を公表するとともに、各事業担当課において施策の見直しや方向性について協議・検討を行い、次年度以降の各課の事業実施に反映するよう要望します。

### (2) 茂原市におけるさらなる男女共同参画の推進について

令和6年1月に千葉県では「千葉県多様性が尊重され誰もが活躍できる社会の形成の推進に関する条例」が施行されました。基本理念は「多様性が尊重され誰もが活躍できる社会の形成は、人々が様々な違いを尊重しながら、互いに関わり合い、影響を及ぼし合うことが社会の活力及び創造性の向上に効果を発揮するという認識の下に行われる」であり、目指す社会の一つに「男女のいずれもが、性別を理由とする不利益を受けることなく、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画し、ともに活躍している社会」とあります。男女共同参画に関する条例が唯一なかった千葉県に、その趣旨を含んだ条例が出来ました。県では現在、「第5次男女共同参画計画」が実施されています。今後、条例に基づいた施策の展開が期待されます。ジェンダー平等・人権・格差・貧困・DV等、解決しなければならない課題はたくさんあります。どう施策を具体化するのか、しっかり予算もつけて解決に向かって欲しいと思います。今後は、当市が県との連携をより強化し動向を注視しながら推進していくことを、提言したいと考えます。

人口減少が進む中、性別にとらわれず誰もが活躍できる社会の実現が重要となっています。社会の一員としての女性の役割は増えています。女性も男性も働きやすい社会・家庭環境を整えることで仕事や家庭、地域活動をも両立させることができます。また、男性も家事・育児をする機会を増やせるような働き方になる仕組み、ワーク・ライフ・バランスを整えることで少子化を抑制することが出来ると思います。企業や事業所、商業や農業、市民が協力し合うことで変えていけると期待します。

### (3) 「男女共同参画センター」の設置について

「男女共同参画社会づくり」は21世紀わが国における最重要課題の一つであり、SDGs（持続可能な開発目標）においても、「ジェンダー平等の実現」は世界が取り組むべき目標の一つとして掲げられています。茂原市においてもその実現のため行政と「茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会」と「ハートフルフェスタ実行委員会」による意識啓発のための講演会の開催などにより推進に努めてきました。

「男女共同参画社会」をさらに推進するためには、男女共同参画に関する研修、情報提供、女性グループ・団体の自主活動の場の提供、相談、調査・研究等、多様な機能を有する「男女共同参画センター」の設置が必要不可欠です。今まで手が届かなかった企業や事業所、教育現場、地域社会に向けた啓発活動の充実も図っていく必要があります。

関連書籍を設置し、学び合い・市民活動・情報収集・交流の場としての機能を持つ「男女共同参画センター」の設置を要望します。

# 令和4年度事業一覧

**A:**十分な成果を上げた（達成度8割以上）  
**B:**ある程度の成果を上げた（達成度4割～7割）  
**C:**事業の見直しが必要（達成度3割以下）

事業No.	事業名	担当課	基本目標	主要課題	施策の方向	1次評価	2次評価	3次評価
1	人権に関する教育および意識啓発の推進	生活課	I 人権の尊重	I-1 人権を守るための社会づくり	I-1(1)人権尊重意識の啓発	B	B	C
2	職場におけるセクハラ・パワハラ等防止の促進	商工観光課	I 人権の尊重	I-1 人権を守るための社会づくり	I-1(1)人権尊重意識の啓発	B	B	C
3	多様な性のあり方に関する意識啓発の推進	企画政策課	I 人権の尊重	I-2 人権を守るための社会づくり	I-1(1)人権尊重意識の啓発	B	B	B
4	市民相談・人権相談に対する適切な対応	生活課	I 人権の尊重	I-1 人権を守るための社会づくり	I-1(2)相談体制の拡充	B	B	B
5	児童生徒の悩みに対する相談体制の充実	学校教育課	I 人権の尊重	I-1 人権を守るための社会づくり	I-1(2)相談体制の拡充	A	A	B
6	男女共同参画に関する講演会や講座等の開催	企画政策課	I 人権の尊重	I-2 男女共同参画の意識づくり	I-2(1)男女共同参画の意識啓発の推進	B	B	B
7	男女共同参画に関する意識啓発	企画政策課	I 人権の尊重	I-2 男女共同参画の意識づくり	I-2(1)男女共同参画の意識啓発の推進	B	A	A
8	男女共同参画に関する市職員研修の実施	職員課	I 人権の尊重	I-2 男女共同参画の意識づくり	I-2(1)男女共同参画の意識啓発の推進	A	B	B
9	乳幼児・児童・生徒の発達段階に応じた人権尊重・男女共同参画に関する保育・教育の推進	子育て支援課	I 人権の尊重	I-3 男女共同参画の視点に立った教育・学習の推進	I-3(1)保育所・幼稚園・小中学校における男女共同参画に関する教育の推進	B	B	B
9	乳幼児・児童・生徒の発達段階に応じた人権尊重・男女共同参画に関する保育・教育の推進	学校教育課	I 人権の尊重	I-3 男女共同参画の視点に立った教育・学習の推進	I-3(1)保育所・幼稚園・小中学校における男女共同参画に関する教育の推進	B	B	B
10	DV防止に関する意識啓発	子育て支援課	II あらゆる暴力の根絶	II-1 暴力の防止と被害者支援の充実	II-1(1)DV、虐待防止啓発の推進	B	B	B
11	DVに関する相談窓口等の充実と周知徹底	子育て支援課	II あらゆる暴力の根絶	II-1 暴力の防止と被害者支援の充実	II-1(1)DV、虐待防止啓発の推進	B	B	B
12	障害者（児）の虐待防止	障害福祉課	II あらゆる暴力の根絶	II-1 暴力の防止と被害者支援の充実	II-1(1)DV、虐待防止啓発の推進	A	A	A
13	高齢者の虐待防止	高齢者支援課	II あらゆる暴力の根絶	II-1 暴力の防止と被害者支援の充実	II-1(1)DV、虐待防止啓発の推進	B	B	B
14	関係機関との連携の強化	子育て支援課	II あらゆる暴力の根絶	II-1 暴力の防止と被害者支援の充実	II-1(2)被害者に対する支援、相談の充実	B	B	B
15	男女共同参画によるまちづくりの推進と審議会等委員への女性参画の拡大	企画政策課	III さまざまな分野における男女共同参画	III-1 政策・方針決定過程における男女共同参画	III-1(1)市政における政策・方針決定過程への男女共同参画の推進	B	B	B
16	市女性職員の登用の推進	職員課	III さまざまな分野における男女共同参画	III-1 政策・方針決定過程における男女共同参画	III-1(1)市政における政策・方針決定過程への男女共同参画の推進	B	B	B
17	市女性職員の活躍推進のための研修への参加機会の確保・拡大	職員課	III さまざまな分野における男女共同参画	III-1 政策・方針決定過程における男女共同参画	III-1(1)市政における政策・方針決定過程への男女共同参画の推進	A	A	A
18	市民活動における男女共同参画の促進	生活課	III さまざまな分野における男女共同参画	III-2 地域社会における男女共同参画	III-2(1)地域における男女共同参画の促進	B	B	B
19	父親の子育てに関する学習機会の提供	生涯学習課	III さまざまな分野における男女共同参画	III-3 家庭における男女共同参画	III-3(1)家庭生活における男女共同参画の促進	C	C	B
20	男性の家庭参画を促す講座等の実施	東部台文化会館	III さまざまな分野における男女共同参画	III-3 家庭における男女共同参画	III-3(1)家庭生活における男女共同参画の促進	A	A	A
21	乳幼児相談・健診事業の充実	健康管理課	III さまざまな分野における男女共同参画	III-3 家庭における男女共同参画	III-3(1)家庭生活における男女共同参画の促進	B	A	A



事業No.	事業名（具体的取り組み）	担当課	基本目標	主要課題	施策の方向	1次評価	2次評価	3次評価
22	子育て支援に関する情報提供	子育て支援課	Ⅲ さまざまな分野における男女共同参画	Ⅲ-3 家庭における男女共同参画	Ⅲ-3(2)子育て支援の充実	B	B	B
23	子育てに関する相談業務の充実	子育て支援課	Ⅲ さまざまな分野における男女共同参画	Ⅲ-3 家庭における男女共同参画	Ⅲ-3(2)子育て支援の充実	B	B	B
24	移動式赤ちゃん休憩室の貸出	生活課	Ⅲ さまざまな分野における男女共同参画	Ⅲ-3 家庭における男女共同参画	Ⅲ-3(2)子育て支援の充実	B	B	B
25	多様な働き方を支援するための保育サービスの拡充	子育て支援課	Ⅲ さまざまな分野における男女共同参画	Ⅲ-3 家庭における男女共同参画	Ⅲ-3(2)子育て支援の充実	B	B	B
26	放課後等の子どもの居場所づくり	子育て支援課	Ⅲ さまざまな分野における男女共同参画	Ⅲ-3 家庭における男女共同参画	Ⅲ-3(2)子育て支援の充実	A	A	A
27	高齢者の総合相談窓口の充実	高齢者支援課	Ⅲ さまざまな分野における男女共同参画	Ⅲ-3 家庭における男女共同参画	Ⅲ-3(3)介護支援の充実	B	B	B
28	認知症高齢者と家族等への支援の充実	高齢者支援課	Ⅲ さまざまな分野における男女共同参画	Ⅲ-3 家庭における男女共同参画	Ⅲ-3(3)介護支援の充実	B	B	B
29	市民へのワーク・ライフ・バランスの推進	企画政策課	Ⅲ さまざまな分野における男女共同参画	Ⅲ-4 労働における男女共同参画	Ⅲ-4(1)ワーク・ライフ・バランスの推進	B	B	B
30	事業所へのワーク・ライフ・バランスの推進	商工観光課	Ⅲ さまざまな分野における男女共同参画	Ⅲ-4 労働における男女共同参画	Ⅲ-4(1)ワーク・ライフ・バランスの推進	B	B	B
31	市職員へのワーク・ライフ・バランスの推進	職員課	Ⅲ さまざまな分野における男女共同参画	Ⅲ-4 労働における男女共同参画	Ⅲ-4(1)ワーク・ライフ・バランスの推進	A	B	B
32	男女雇用機会均等や育児・介護休業に係る法制度の周知とポジティブ・アクション（積極的改善措置）の促進	商工観光課	Ⅲ さまざまな分野における男女共同参画	Ⅲ-4 労働における男女共同参画	Ⅲ-4(2)雇用機会の均等と職場環境の整備・改善	B	B	B
33	就労を希望する女性の再チャレンジ支援	商工観光課	Ⅲ さまざまな分野における男女共同参画	Ⅲ-4 労働における男女共同参画	Ⅲ-4(2)雇用機会の均等と職場環境の整備・改善	A	B	B
34	農業における女性グループ活動の支援と女性起業家の育成	農政課	Ⅲ さまざまな分野における男女共同参画	Ⅲ-4 労働における男女共同参画	Ⅲ-4(4)農業・自営業等における男女共同参画の促進	C	C	C
35	農業における家族経営協定締結の促進	農政課	Ⅲ さまざまな分野における男女共同参画	Ⅲ-4 労働における男女共同参画	Ⅲ-4(4)農業・自営業等における男女共同参画の促進	C	C	C
36	高齢者の自主活動への支援	高齢者支援課	Ⅳ 誰もが安心して暮らせる環境づくり	Ⅳ-1 安心して活動できる環境の整備	Ⅳ-1(1)高齢者・障害者施策の充実	B	B	B
37	障害者（児）の地域生活支援の充実	障害福祉課	Ⅳ 誰もが安心して暮らせる環境づくり	Ⅳ-1 安心して活動できる環境の整備	Ⅳ-1(1)高齢者・障害者施策の充実	A	A	B
38	障害者（児）の相談事業の充実及び社会復帰の促進	障害福祉課	Ⅳ 誰もが安心して暮らせる環境づくり	Ⅳ-1 安心して活動できる環境の整備	Ⅳ-1(1)高齢者・障害者施策の充実	A	A	A
39	精神保健相談の実施及び社会復帰の支援	健康管理課	Ⅳ 誰もが安心して暮らせる環境づくり	Ⅳ-1 安心して活動できる環境の整備	Ⅳ-1(1)高齢者・障害者施策の充実	B	B	B
40	男女共同参画の視点を取り入れた防災対策の充実	防災対策課	Ⅳ 誰もが安心して暮らせる環境づくり	Ⅳ-1 安心して活動できる環境の整備	Ⅳ-1(2)防災・防犯における男女共同参画の促進	A	B	B
41	自主防災組織の育成	防災対策課	Ⅳ 誰もが安心して暮らせる環境づくり	Ⅳ-1 安心して活動できる環境の整備	Ⅳ-1(2)防災・防犯における男女共同参画の促進	B	B	B
42	地域防犯体制の充実	生活課	Ⅳ 誰もが安心して暮らせる環境づくり	Ⅳ-1 安心して活動できる環境の整備	Ⅳ-1(2)防災・防犯における男女共同参画の促進	A	B	B
43	自らの健康を自ら管理する意識づくりについての啓発	健康管理課	Ⅳ 誰もが安心して暮らせる環境づくり	Ⅳ-2 健やかに安心して暮らせる環境の整備	Ⅳ-2(1)生涯を通じた健康支援	B	B	B
44	人生の各段階に応じた健康相談と家庭訪問の実施	健康管理課	Ⅳ 誰もが安心して暮らせる環境づくり	Ⅳ-2 健やかに安心して暮らせる環境の整備	Ⅳ-2(1)生涯を通じた健康支援	B	B	B
45	市民参加の健康づくりの推進	健康管理課	Ⅳ 誰もが安心して暮らせる環境づくり	Ⅳ-2 健やかに安心して暮らせる環境の整備	Ⅳ-2(1)生涯を通じた健康支援	B	B	B
46	スポーツを通じての健康増進	体育課	Ⅳ 誰もが安心して暮らせる環境づくり	Ⅳ-2 健やかに安心して暮らせる環境の整備	Ⅳ-2(1)生涯を通じた健康支援	B	B	B

事業No.	事業名（具体的取り組み）	担当課	基本目標	主要課題	施策の方向	1次評価	2次評価	3次評価
47	安心して妊娠・出産するための支援	健康管理課	Ⅳ 誰もが安心して暮らせる環境づくり	Ⅳ-2 健やかに安心して暮らせる環境の整備	Ⅳ-2(2)安心して妊娠・出産できる環境づくり	B	A	A
48	妊娠期の健康管理・育児に関する学習機会の提供	健康管理課	Ⅳ 誰もが安心して暮らせる環境づくり	Ⅳ-2 健やかに安心して暮らせる環境の整備	Ⅳ-2(2)安心して妊娠・出産できる環境づくり	B	A	A

	1次評価	2次評価	3次評価
<b>A</b> 十分な成果を上げた（達成度8割以上）	12	11	9
<b>B</b> ある程度の成果を上げた（達成度4割～7割）	34	35	36
<b>C</b> 事業の見直しが必要（達成度3割以下）	3	3	4

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	1	基本目標	I 人権の尊重
事業名	人権に関する教育及び意識啓発の推進	主要課題	I-1 人権を守るための社会づくり
課係名	生活課	施策の方向	(1)人権尊重意識の啓発

A C T (改善)	R3年度末における次年度における取り組み(予定) ※R3年度報告書より再掲
	子どもたちに思いやりやいたわりの大切さを伝えるため、小中学校の人権教室、人権紙芝居を実施し、人権尊重意識の教育や啓発に努める。

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画
	人権擁護委員による街頭啓発活動を行うとともに、小学校において人権教室を開催し、他人への思いやりやいたわりの大切さ等を伝えます。また、小・中学生には人権に関する作品づくりを通じ、豊かな人権感覚を身に付けてもらえるよう教育委員会に依頼するとともに、児童生徒の作品展示を通して、市民の人権尊重意識の啓発に努めます。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標
	R4年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入
	①市内小学校における人権教室の実施 ②小中学校への人権ポスター原画・人権作文の依頼 ③夏期学童クラブへ人権「紙芝居」の実施

D O (実施)	R4年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 有 ・ 無 )					
	内容		回数	参加者数(男女別)		
	①小中学校における人権教室実施 10/24(月)本納小学校(参加:1年生20名、5年生27名)、11/16(水)新治小学校(参加:1年生5名、2年生5名、5年生5名)、9/29(木)豊岡小学校(参加:1年生18名、2年生16名、5年生36名)、11/17(木)本納中学校(参加:1年生58名) ②人権ポスター(小学校11校:179点参加)人権作文(中学校4校:92点応募) ③新型コロナウイルス感染拡大防止のため、長生郡市内で組織する「茂原人権擁護委員協議会」で中止を決定した。  その他の啓発活動として、小中学校1年生に人権冊子「種をまこう」等を配付し、人権尊重意識の醸成を図った。また相談日程の掲載したポスターを作成し、公共施設内に掲示し、人権相談の周知を図った。		4回	190名		
	R4年度の数値成果		R3(参考)	R5(参考)	R6(参考)	R7(参考)
	R4予算額(千円)		R4決算見込額		R5予算額	
0		0		0		

C H E C K (評価)	【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点
	<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) <input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) <input type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 新型コロナ感染症対策を講じながら、小中学校での人権教室を実施することができた。対象を1年生又は1・2年生としていたが、他の学年についても人権教室を実施することで、広く人権意識の醸成を図ることができた。その一方で、夏休みを利用した学童クラブでの「人権紙芝居」については、新型コロナ感染拡大防止の観点から中止となってしまったため。 (課題・問題点) 冊子の配布以外に実施できる啓発方法を検討する必要がある。

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	子どもたちに思いやりやいたわりの大切さを伝えるため、小中学校の人権教室、人権紙芝居を実施し、人権尊重意識の教育や啓発に努める。

CHECK (評価)	【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等		
	<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	<p>(評価の根拠) コロナ禍でも人権教室、ポスター作成による周知はできているが、紙芝居はできていない。</p> <p>(課題・問題点) 開催できなかった紙芝居については、タブレット等を使用するなど、開催方法を工夫する必要がある。</p>		
	<b>重点評価事業</b>		
	【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	<b>項目評価基準</b>	<b>評価</b>	<b>【項目評価基準】</b>
	(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	2	4…十分達成している 【90%以上】
	(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか	2	3…概ね達成されている 【70%以上】
	(c) 課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	2	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
	(d) 適切な数値目標が提示されているか	1	1…不十分である 【50%未満】
総合評価とその判定理由			
<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input checked="" type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)	
<p>コロナ禍でも、人権教室、ポスター作成など、昨年よりは増えているが、まだ不十分である。</p>			
<b>改善策等の提言</b>			
<p>創意工夫がみられない。SNSを活用して発信する方法に発想を転換すべきではないだろうか。</p>			

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	2	基本目標	I 人権の尊重
事業名	職場におけるセクハラ・パワハラ等防止の促進	主要課題	I-1 人権を守るための社会づくり
課係名	商工観光課	施策の方向	(1)人権尊重意識の啓発

A C T (改善)	R3年度末における次年度における取り組み(予定) ※R3年度報告書より再掲
	国・県等の施策に関する情報を、市公式ウェブサイト上でさらに充実させ効果的に発信する。セミナー等の開催については、先進的な事例を参考にオンライン形式等での開催を検討する。

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画
	職場におけるセクハラ等防止について、茂原商工会議所等の関係機関に要請するとともに、千葉労働局雇用環境・均等室や千葉県男女共同参画センター等の相談窓口について、情報提供を行います。また、市内事業所に対し、セクハラ等防止のための講座・研修等への参加を促進します。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標
	セミナー等の開催 年1回以上
D O (実施)	R4年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入
	①他市町村の取り組みを調査するとともに、関係機関と連携を図り、講習会等の機会を利用しセクハラ等防止に向けた意識啓発を図る。 ②セクハラ等の防止に関する情報提供のため、市公式ウェブサイト等を積極的に活用するとともに、関係機関のパンフレットを配布周知に努める。

D O (実施)	R4年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 有 ・ 無 )					
	内容		回数	参加者数(男女別)		
	千葉県働き方改革推進支援センター、茂原商工会議所、茂原市商店会連合会との共催により、「働き方改革の現在～制度を知って誰もが働きやすい職場環境へ～」と題した、職場におけるセクハラ等防止の説明を含むセミナーを開催した。市ウェブページに「セクハラ」や「パワハラ」防止に関するリンクの掲載等による情報発信を行った。		1回	12人(男5人、女7人)		
	R4年度の数値成果		R3(参考)	R5(参考)	R6(参考)	R7(参考)
	セミナー等の開催 1回		0回			
	R4予算額(千円)		R4決算見込額		R5予算額	
0		0		0		

C H E C K (評価)	【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点
	<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) <input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) <input type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
(評価の根拠) 職場におけるセクハラ等防止に関するセミナーを初開催することができた。	
(課題・問題点) セミナーの参加者数を増やし、更なる周知、情報提供に努める必要がある。	

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	千葉県働き方改革推進支援センターなどの関係機関との連携を強化し、職場におけるセクハラ・パワハラ防止について効果的な情報の発信、セミナー等の開催による制度の周知に努める。

CHECK (評価)	<b>【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等</b>		
	<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) セミナーを初開催し、難しい問題にも積極的に取り組んでいる。		
	(課題・問題点) セミナーの参加人数が少ないので、周知方法を工夫する必要がある。また、世代別で内容を変えたセミナーを開催する等、幅広い世代に啓発できるよう工夫できるとなお良い。		
	<b>重点評価事業</b>		
	<b>【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点</b>		
	<b>項目評価基準</b>	<b>評価</b>	<b>【項目評価基準】</b>
	(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	2	4…十分達成している 【90%以上】
	(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか	2	3…概ね達成されている 【70%以上】
	(c) 課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	2	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d) 適切な数値目標が提示されているか	2	1…不十分である 【50%未満】	
<b>総合評価とその判定理由</b>			
<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input checked="" type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)	
セミナー開催にこぎつけたことは評価できるが、それで終わっている。			
<b>改善策等の提言</b>			
参加者が少ないなど今後検討すべき点が多々ある。 他市町村の取組を調査し参考にすることを再検討してはどうか。			

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	3	基本目標	I 人権の尊重
事業名	多様な性のあり方に関する意識啓発の推進	主要課題	I-1 人権を守るための社会づくり
課係名	企画政策課	施策の方向	(1)人権尊重意識の啓発

A C T (改善)	R3年度末における次年度における取り組み(予定) ※R3年度報告書より再掲
	引き続き、啓発チラシの配布・設置、市公式ウェブページの充実により、市民への情報提供に努める。

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画
	LGBT等(性的少数者)に対する理解を深め、当事者に対する偏見や差別意識をなくし、すべての人が多様な個性を尊重し合い、豊かで安心して生活できるよう、LGBT等に対する正しい情報提供や理解促進のための啓発を行います。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標
	性の多様性に関する啓発 年1回以上
	R4年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入
	①国・県等から、LGBTに関するパンフレットを取り寄せ、市民の目につきやすい場所に設置する ②他市町村の多様な性のあり方に関する取り組みを調査する。

D O (実施)	R4年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 有 ・ 無 )				
	内容		回数	参加者数(男女別)	
	①県が作成したLGBTに関するパンフレットを取り寄せ、市役所内に設置するとともに、茂原市立図書館で男女共同参画週間に関連図書と併せて設置した。		1回		
	②県内の男女共同参画担当者による会議で、多様な性のあり方に関する取り組み状況について質問し、参加した自治体全てから回答をもらった。		1回		
	≪他市の主な取り組み≫ ・市内の学校に対して研修用DVDや図書の貸出を行う。 ・外部講師を招き、市民向けの講座の開催 ・市広報誌への啓発記事掲載 ・職員向け対応マニュアルの作成 ・図書館でパネル展の実施 ・パートナーシップ制度の導入				
	R4年度の数値成果		R3(参考)	R5(参考)	R6(参考)
性の多様性に関する啓発 1回		3回			
R4予算額(千円)		R4決算見込額		R5予算額	
0		0		0	

C H E C K (評価)	【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点
	<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) <input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) <input type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) パンフレットの設置、他市の取り組みの調査にとどまっているため。 (課題・問題点) パンフレットの設置により、どの程度の人目に情報が触れているのか、それにより意識啓発が進んでいるのか、効果を図ることが難しい。アンケート調査の実施等により、市民への周知度、市民の理解度の把握が必要。

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	引き続き、啓発チラシの配布・設置、また講座等の開催により、市民への情報提供に努める。

CHECK (評価)	<b>【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等</b>		
	<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠)各所にパンフレットを工夫して設置したことで、LGBTについての周知をすることができている。		
	(課題・問題点)パンフレットの設置だけではなく、市民向けの講座の開催や、小中学校で研修を行うなど、全世代に対する情報提供や理解促進を図る必要がある。		
	<b>重点評価事業</b>		
	<b>【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点</b>		
	<b>項目評価基準</b>	<b>評価</b>	<b>【項目評価基準】</b>
	(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	<b>3</b>	4…十分達成している 【90%以上】
	(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	<b>3</b>	3…概ね達成されている 【70%以上】
	(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	<b>3</b>	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか	<b>2</b>	1…不十分である 【50%未満】	
<b>総合評価とその判定理由</b>			
<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)	
計画通り他市町村の取組を調査している。 啓発活動ができている。			
<b>改善策等の提言</b>			
他市町村の取組を参考に、具体的な方法を検討して取り組んでもらいたい。 教育現場と連携した取り組みも必要だと思う			



茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	4	基本目標	I 人権の尊重
事業名	市民相談・人権相談に対する適切な対応	主要課題	I-1 人権を守るための社会づくり
課係名	生活課	施策の方向	(2)相談体制の拡充

A C T (改善)	R3年度末における次年度における取り組み(予定) ※R3年度報告書より再掲
	毎日実施している市民相談に加え、人権擁護委員による月2回の相談、法務局で毎日実施している人権相談、電話・インターネットによる人権相談等の周知に努める。

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画
	市民から寄せられる相談は、年々増加するとともにその内容も複雑多様化していることから、人権相談をはじめとする各種相談について、関係各課及び国・県とも連携を図りながら、より迅速かつ適切に相談内容の解決に向けた取り組みの強化に努めます。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標
	R4年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入
	①人権相談所の開設(市役所12回、ほのおか館12回) ② ③ 広報への掲載(相談日案内12回、特設人権週間1回、女性のホットライン1回) ③研 修等の実施(茂原人権擁護委員協議会主催の定期総会(5月)、部会(6月)、全委員研修会(11月)、合同部会(2月)) ④市民相談

D O (実施)	R4年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 有 ・ 無 )					
	内容		回数	参加者数(男女別)		
	①人権相談所の開設(市役所12回、ほのおか館12回) ②広報への掲載(相談日案内12回、特設人権週間1回) ③研修等の実施(茂原人権擁護委員協議会主催の定期総会(5月・書面決議))第1部会、全委員研修会、合同部会は、感染拡大防止のため中止 ④市民相談(毎日) ⑤人権週間のポスター掲示及びチラシの配布、女性の人権ホットライン等のポスターの掲示		24回	2件 (法務局で実施している相談等については非公表)		
	R4年度の数値成果		R3(参考)	R5(参考)	R6(参考)	R7(参考)
	R4予算額(千円)		R4決算見込額		R5予算額	
1118		1,226		1,135		

C H E C K (評価)	【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点
	<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) <input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) <input type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) ポスターやチラシ等を定期的に掲示及び配布することにより、相談窓口の周知に努めた。 (課題・問題点) インターネット相談や電話相談など対面以外の相談方法の周知を図る。

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	毎日実施している市民相談に加え、人権擁護委員による月2回の相談、毎日実施している法務局の人権相談、電話による人権相談等の周知に努める。

CHECK (評価)	<b>【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等</b>		
	<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	<p>(評価の根拠)年間を通して複数回人権相談所を開設しており、相談しやすい環境を整えることができる。</p> <p>(課題・問題点)参加者数が少ないため、周知方法を工夫し、市民が身近に感じられるよう努める必要がある。</p>		
	<b>重点評価事業</b>		
	<b>【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点</b>		
	<b>項目評価基準</b>	<b>評価</b>	<b>【項目評価基準】</b>
	(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	<b>3</b>	4…十分達成している <b>【90%以上】</b>
	(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	<b>2</b>	3…概ね達成されている <b>【70%以上】</b>
	(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	<b>2</b>	2…達成半ばであり改善を要する <b>【50%以上】</b>
	(d)適切な数値目標が提示されているか	<b>1</b>	1…不十分である <b>【50%未満】</b>
<b>総合評価とその判定理由</b>			
<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)	
年間を通して複数回人権相談所を開設している。			
<b>改善策等の提言</b>			
相談件数が2件ということは悩み事相談が少ないとみるのか、この事業が知られていなくて利用しないのか、検討する必要があると思う。相談者が相談しやすいか、場所が分かりやすいか、担当者が親身に寄り添っているのか、相談事がたらい回しになっていないか等も同じく。			

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	5	基本目標	I 人権の尊重
事業名	児童・生徒の悩みに対する相談体制の充実	主要課題	I-1 人権を守るための社会づくり
課係名	学校教育課	施策の方向	(2) 相談体制の拡充

A C T (改善)	R3年度末における次年度における取り組み(予定) ※R3年度報告書より再掲
	児童生徒及び保護者からのニーズは高く、今後も心のよりどころとなるよう、在校日を増やすことに取り組む。

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画
	スクールカウンセラー(県事業)や心の教室相談員の配置により、学校内における児童・生徒の悩みに対する相談体制について、男女共同参画の視点に配慮しながら整備充実を図ります。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標
	・スクールカウンセラー配置校 現計画中に12校 ・心の教室相談員配置校 現計画中に4校
D O (実施)	R4年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※簡条書きで具体的に記入
	・スクールカウンセラーの配置(中学校6校、小学校13校) ※県事業

D O (実施)	R4年度の実施結果 ※簡条書きで具体的に記入 (添付書類 有 ・ 無 )					
	内容		回数	参加者数(男女別)		
	①児童生徒からの相談に対して傾聴し、一人ひとりの心に寄り添いながら、個に応じた対応を心がけた。 ②相談体制の充実のために、在校日を児童生徒及び保護者に知らせ、相談活動の充実を図った。 ③全小中学校にスクールカウンセラーが配置となり、相談体制が充実した。  【補足】スクールカウンセラー在校日について 各小学校 月1～2回 各中学校 週1回					
	R4年度の数値成果		R4(参考)	R5(参考)	R6(参考)	R7(参考)
	・スクールカウンセラー配置校 19校		・19校			
	R4予算額(千円)		R4決算見込額		R5予算額	
	914		0		0	

C H E C K (評価)	【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点
	<input checked="" type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) <input type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) <input type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠)これまでスクールカウンセラーが未配置の小学校では、中学校区で連携しサポート体制をとっていたが、市内全校に配置となったことで、児童生徒や保護者へカウンセリング等の相談体制が充実した。また、事案に対する学校内の連携や、支援チーム体制の構築・支援に携わることで支援体制の充実につながった。  (課題・問題点)児童生徒の精神的なケアの観点から、在校日を増やすことが必要である。

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	児童生徒及び保護者からのニーズは高く、今後も心のよりどころとなるよう、在校日を増やすことに取り組む。

CHECK (評価)	【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等		
	<input checked="" type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 全小中学校にスクールカウンセラーが配置できており、相談体制が充実していると言える。 (課題・問題点) スクールカウンセラー在籍日を増やす等、利用しやすい環境づくりに努めてほしい。		
	<b>重点評価事業</b>		
	【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	項目評価基準	評価	【項目評価基準】
	(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	4	4…十分達成している 【90%以上】
	(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【70%以上】
	(c) 課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
	(d) 適切な数値目標が提示されているか	3	1…不十分である 【50%未満】
総合評価とその判定理由			
<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)	
計画通り全校にスクールカウンセラーが配置された。 相談体制、カウンセラー配置によってどう変化しているかが見えない。			
改善策等の提言			
現状のスクールカウンセラー在籍日だけで十分なカウンセリングができているのか疑問がある。 在籍日数をどの程度増やすのか具体的な目標の設定が望まれる。また、日数を増やすだけでなくカウンセリングそのものの充実も望まれる。 在籍日が増やせなければスクールカウンセラーとのやり取りを在籍日だけでなく、タブレットを使ってオンラインすることも考えてはどうか。			

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	6	基本目標	I 人権の尊重
事業名	男女共同参画に関する市民向け講演会や講座等の開催	主要課題	I-2 男女共同参画の意識づくり
課係名	企画政策課	施策の方向	(1)男女共同参画の意識啓発の推進

A C T (改善)	R3年度末における次年度における取り組み(予定) ※R3年度報告書より再掲
	講演会の開催について、より多くの市民に参加してもらえるよう、会場とオンラインでの同時開催を検討する。新型コロナウイルスの感染拡大状況により会場での開催が中止になる場合でも、オンラインでの開催はできるよう準備する。また、来年度も引き続き、国や県の開催するオンライン講演会・セミナー等について積極的に情報提供する。

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画
	男女共同参画に関する講演会や講座等を開催するとともに、県や関係機関との連携を図り、市民に対する意識啓発をします。講演会や講座の開催にあたっては、開催日時やテーマ・託児などに配慮し、幅広い年代の、より多くの方に参加してもらえるよう努めます。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標
	・講演会・講座等の開催回数 年2回以上 ・参加者数 年150人以上
D O (実施)	R4年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入
	ハートフルフェスタ実行委員会と協働し、市民が興味を持ちやすいテーマで男女共同参画に関する講演会・講座等を開催する。働く世代も含め幅広く参加してもらえるよう、土日での開催および子育て世代への配慮として無料託児を実施する。

D O (実施)	R4年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 有 ・ 無)				
	内容	回数	参加者数(男女別)		
	講演会を2回実施。 ①9月5日(月)「高齢社会における諸問題」講師:二階堂高史 氏(行政書士) ②10月23日(日)「男女共同参画の実現～アンコンシャス・バイアスの視点から～」講師:内海崎貴子 氏(川村学園女子大学教授)  ②については、男女共同参画の視点で参加者にも身近なヒット曲の歌詞を分析し、そこに描かれる家族像、女性像の時代による変化についてお話いただいた。日曜日に開催するとともに、会場とオンラインの同時開催することにより、幅広い世代に参加してもらえるようにした。	2回	①35名(女性26名、男性6名、不明3名)  ②40名(女性33名、男性7名)		
	R4年度の数値成果	R3(参考)	R5(参考)	R6(参考)	R7(参考)
	・講演会・講座等の開催回数 2回 ・参加者数 75名	・1回 ・4人			
	R4予算額(千円)	R4決算見込額		R5予算額	
109	0		51		

C H E C K (評価)	【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点
	<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) <input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) <input type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 講演会では、参加者にも身近な「音楽」をテーマにして男女共同参画についての意識啓発を行い、また開催方法も工夫できたが、参加者が少ない。  (課題・問題点) 開催時の周知を工夫してより多くの市民に参加してもらい、男女共同参画についての理解を広める必要がある。

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	引き続きハートフルフェスタ実行委員会と協働して、市民が興味を持てるようなイベントの開催および内容の検討を行う。

CHECK (評価)	<b>【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等</b>		
	<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠)オンラインでの開催や講習内容など、若年層の方でも参加しやすいような工夫がされている。 (課題・問題点)若年層や男性層の集客数を上げるための周知方法を工夫する必要がある。		
	<b>重点評価事業</b>		
	<b>【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点</b>		
	<b>項目評価基準</b>	<b>評価</b>	<b>【項目評価基準】</b>
	(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	<b>3</b>	4…十分達成している 【90%以上】
	(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	<b>3</b>	3…概ね達成されている 【70%以上】
	(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	<b>3</b>	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
	(d)適切な数値目標が提示されているか	<b>3</b>	1…不十分である 【50%未満】
<b>総合評価とその判定理由</b>			
<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)	
オンラインの利用など工夫し数値目標は達成している。			
<b>改善策等の提言</b>			
若年層や男性層の集客数を多くするための演者選び等の工夫が必要。市民が関心をもてるような案内の工夫も同じく。月一回の市民コーナーの会を復活させ、委員同士の話し合いの場としても必要と思う。			

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	7	基本目標	I 人権の尊重
事業名	男女共同参画に関する意識啓発	主要課題	I-2 男女共同参画の意識づくり
課係名	企画政策課	施策の方向	(1)男女共同参画の意識啓発の推進

A C T (改善)	R3年度末における次年度における取り組み(予定) ※R3年度報告書より再掲
	引き続き、広報もばら、市公式ウェブサイト、自治会回覧等を活用して積極的に情報発信を行う。

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画
	男女共同参画に関する意識啓発のための、情報紙やパンフレット、男女共同参画の視点からの表現ガイドラインをあらゆる機会に配布するとともに、広報もばら・市公式ウェブサイト等を活用して情報発信に努めます。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標
	意識啓発パンフレット等の配布 年2回 6,000部以上
	R4年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入
	①国・県等から、男女共同参画関連のパンフレット等を取り寄せ、市民の目につきやすい場所に設置する ②広報・市公式ウェブサイト・自治会回覧等を利用し、男女共同参画について情報発信に努める。

D O (実施)	R4年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 有 ・ 無 )					
	内容		回数	参加者数(男女別)		
	①国・県等が作成したパンフレット、イベントのチラシ等を公共施設に設置した。 ②男女共同参画に関する講演会(2回)の開催と、茂原市の男女共同参画ボランティア委員の募集にあわせて、広報・市公式ウェブサイト・自治会回覧で、茂原市の取り組みを紹介した。		①5回以上 ②3回			
	R4年度の数値成果		R3(参考)	R5(参考)	R6(参考)	R7(参考)
	意識啓発パンフレット等の配布 5回以上 9,000部以上		5回9000部以上			
	R4予算額(千円)		R4決算見込額		R5予算額	
0		0		0		

C H E C K (評価)	【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点
	<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) <input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) <input type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 数値目標は達成した。 (課題・問題点) 事業番号3同様、どの程度の人目に触れているのか、それにより意識啓発が進んでいるのか、効果を測ることが難しい。

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	引き続き、広報もばら、市公式ウェブサイト、自治会回覧等を活用して情報発信を行うとともに、イベント開催時等の機会がある度にアンケートを行い、市民への周知度、理解度について調査をする。

**【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等**

- A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)
  B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)
  C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)

(評価の根拠) 自治回覧や講演会を利用し幅広い層に情報発信を行えている。  
 (課題・問題点) アンケート等を行い現状を把握し意識啓発を進める必要がある。

**重点評価事業**

**【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点**

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	4	4…十分達成している 【90%以上】
(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか	4	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c) 課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d) 適切な数値目標が提示されているか	4	1…不十分である 【50%未満】

**総合評価とその判定理由**

- A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)
  B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)
  C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)

数値目標が達成され、着実に成果を上げている。

**改善策等の提言**

次年度における取組予定にあるように、イベントの機会を利用して市民への周知度、理解度についての調査は、今後の施策展開のために重要なので、実施を望む。  
 多くの回答が得られるよう、紙媒体以外のものも活用してはどうか。アンケートに参加してくれた人にモバリんグッズが当たるとか、なども検討してみたいか。

C  
H  
E  
C  
K  
(  
評  
価  
)



茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	8	基本目標	I 人権の尊重
事業名	男女共同参画に関する市職員研修の実施	主要課題	I-2 男女共同参画の意識づくり
課係名	職員課	施策の方向	(1)男女共同参画の意識啓発の推進

A C T (改善)	R3年度末における次年度における取り組み(予定) ※R3年度報告書より再掲
	コロナ禍において研修実施が難しい現状があるが、感染症の状況を見極めながら効果的に研修を実施する。

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画
	階層別職員研修のテーマに取り入れて男女共同参画の意識の啓発と理解の充実を図ります。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標
	市職員対象の男女共同参画に関する研修の実施 年1回以上
D O (実施)	R4年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入
	・管理職を対象にハラスメント防止研修を行う。 ・職員に向け「茂原市職員ハラスメント防止指針」のさらなる周知に努め、あらゆるハラスメント防止への理解を深める。

D O (実施)	R4年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 有 ・ 無 )					
	内容		回数	参加者数(男女別)		
	6級以上職員対象の管理職研修 参加者49名 令和4年11月4日「ハラスメント防止研修」 講師:(株)学宣 山口 尚子 氏 内容:セクシュアル・ハラスメント マタニティ・ハラスメント、パタニティ・ハラスメント ジェンダー・ハラスメント 令和4年度からの育児・介護休業法の改正内容について		年1回	49名(男38名・女11名)		
	R4年度の数値成果		R3(参考)	R5(参考)	R6(参考)	R7(参考)
	市職員対象の男女共同参画に関する研修の実施 1回		1回			
	R4予算額(千円)		R4決算見込額		R5予算額	
22		79		100		

C H E C K (評価)	【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点
	<input checked="" type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) <input type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) <input type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
(評価の根拠)男女共同参画社会の実現に向けて、管理職へのハラスメント防止研修において、セクシャルハラスメントをはじめとする性差による各種ハラスメントへの理解を深めた。また、10月1日の育児・介護休業法の改正による「産後パパ育児」を盛り込んだ子育てハンドブックへ改正し取得可能な職員へ周知した。 (課題・問題点)定期的な意識付けは必要と思うが、毎年度管理職のみを研修の対象とすると参加者の偏りが生まれるので管理職以外へのアプローチが必要である。	

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	管理職以外のハラスメント研修を実施する機会を設けられるよう、対象者を狭めない集合型研修やオンライン研修を検討していく。

CHECK (評価)	【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等		
	<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	<p>(評価の根拠) わずかではあるが男性の育休取得率も上がっており「産後パパ育休」の意識は高めることができる。</p> <p>(課題・問題点) 子育てハンドブックを対象職員だけでなく管理職にも配布し周りの意識向上を図る必要がある。一般職員もだが、まずは管理職へのアプローチに注力し、根強いハラスメント改善意識を高める活動に取り組んでいただきたい。</p>		
	<b>重点評価事業</b>		
	【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	項目評価基準	評価	【項目評価基準】
	(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している 【90%以上】
	(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【70%以上】
	(c) 課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
	(d) 適切な数値目標が提示されているか	2	1…不十分である 【50%未満】
総合評価とその判定理由			
<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)	
<p>管理職への研修という目標は達成されているが、管理職を対象とした研修だけでは不十分。</p>			
改善策等の提言			
<p>各ハラスメント等への認識が、一般職員時から研修を行うことにより当たり前の思考となると思われる。継続して研修を進められたい。 各休暇、特に育児休暇が気軽に取れるような職場環境づくりを日ごろから工夫して欲しい。</p>			

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	9(子)	基本目標	I 人権の尊重
事業名	乳幼児・児童・生徒の発達段階に応じた人権尊重・男女共同参画に関する保育・教育の推進	主要課題	I-3 男女共同参画の視点に立った教育・学習の推進
課係名	子育て支援課	施策の方向	(1) 保育所・幼稚園・小中学校における男女共同参画に関する教育の推進

A C T (改善)	R3年度末における次年度における取り組み(予定) ※R3年度報告書より再掲
	①引き続き、日常の保育や行事において、保育士が男女平等の意識に立った保育に努める。 ②現場に過度な負担が生じることなく必要な保育を提供できるよう、保育士の確保に努める。

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画
	(保育所・幼稚園) 乳幼児の保育や乳児教育において、男女共同参画の視点に配慮した保育及び教育を実施し、男女共同参画の意識を高めます。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標
	R4年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※簡条書きで具体的に記入
	①性別による固定的な役割分担や、性格、服装、色使い等において必要以上に男女の区別をしないよう配慮する。 ②緊急的な保育や育児に伴う保護者の心理的・肉体的負担の軽減を図るため、鶴枝保育所及び朝日の森保育所において、一時保育を実施する。

D O (実施)	R4年度の実施結果 ※簡条書きで具体的に記入 (添付書類 有 ・ 無 )					
	内容		回数	参加者数(男女別)		
	①保育所では保育所保育指針(厚労省告示)に基づき保育を実施しており、指針中の「子どもの性差や個人差にも留意しつつ、性別などによる固定的な意識を植え付けることがないようにすること。」を遵守して保育を実施した。 ②鶴枝保育所(一般型)及び朝日の森保育所(余裕活用型)において、専属の職員を配置し、一時預かり保育を実施した。  ※「一般型」は、専用の保育士(会計年度職員)と保育室を用意して一時預かり保育を実施するもの。「余裕活用型」は、通常保育の利用児童数が定員に満たない場合に、定員の範囲内で一時預かり保育を実施するもの。		△	鶴枝保育所 490人 (R4より開始)  朝日の森保育所 7人		
	R4年度の数値成果		R3(参考)	R5(参考)	R6(参考)	R7(参考)
	R4予算額(千円)		R4決算見込額		R5予算額	
0						

C H E C K (評価)	【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点
	<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) <input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) <input type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) ①について、男女平等の視点に配慮した保育を行っているが、定量的又は定性的に達成度を測り評価することは困難である。 ②について、特に鶴枝保育所は一時預かり専用の保育室を設けPRをしたことで利用者の増加につなげ、保護者のニーズに一定程度応えられたものとする。 (課題・問題点) ①については保育所での取り組みがあることを示すために計画に載せる必要はあると思うが、評価の対象からは外すことも検討するべきと考える。

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	①引き続き、日常の保育や行事において、保育士が男女平等の意識に立った保育に努める。 ②引き続き、保育環境を整え一時預かり事業を継続していく。

CHECK (評価)	<b>【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等</b>		
	<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠)一時保育の実施により親側が働きやすい環境を確保できている。		
	(課題・問題点)一般型の一時保育が他の保育所にも普及していくよう努めていただきたい。		
	<b>重点評価事業</b>		
	<b>【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点</b>		
	<b>項目評価基準</b>	<b>評価</b>	<b>【項目評価基準】</b>
	(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	<b>3</b>	4…十分達成している <b>【90%以上】</b>
	(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	<b>3</b>	3…概ね達成されている <b>【70%以上】</b>
	(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	<b>3</b>	2…達成半ばであり改善を要する <b>【50%以上】</b>
(d)適切な数値目標が提示されているか	<b>3</b>	1…不十分である <b>【50%未満】</b>	
<b>総合評価とその判定期理由</b>			
<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)	
一時保育の実施により親側が働きやすい環境づくりが進んでいる。			
<b>改善策等の提言</b>			
達成度を評価するのは確かに難しいと思うが、保育士一人ひとりが意識して保育の場面で確認・評価し合うことで意識が定着できるようになるので継続して欲しい。乳幼児の保育や幼児教育において男女共同参画の視点に配慮した保育及び教育を実施し、男女共同参画の意識を高めることが目的。 ②に関しては、事業No.25で記載されたい。			

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	9(学)	基本目標	I 人権の尊重
事業名	乳幼児・児童・生徒の発達段階に応じた人権尊重・男女共同参画に関する保育・教育の推進	主要課題	I-3 男女共同参画の視点に立った教育・学習の推進
課係名	学校教育課	施策の方向	(1) 保育所・幼稚園・小中学校における男女共同参画に関する教育の推進

A C T (改善)	R3年度末における次年度における取り組み(予定) ※R3年度報告書より再掲
	①幼稚園、各小中学校において、男女平等を含む人権教育について、全教育活動を通して指導していく。 ②固定的な性別役割分担意識にとられない学校行事等の活動

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画
	(保育所・幼稚園) 乳幼児の保育や幼児教育において、男女共同参画の視点に配慮した保育及び教育を実施し、男女共同参画の意識を高めます。 (小中学校) 学校教育全体を通じて、自立の意識を育む教育、一人ひとりの個性や能力を尊重し、児童生徒が主体的に学び、考え、行動する姿勢を育む教育を推進します。また、人権の尊重、男女の平等、相互理解・協力についての指導の充実を図るとともに、教科書等の教材においても適切な配慮がなされるよう留意します。中学校においては、固定的な性別役割分担意識にとられずに、主体的に進路を選択できるような進路指導に努めます。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標
	R4年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※簡条書きで具体的に記入
	・幼児期において、人との関わりの中で道徳性を養えるような教育を実施する。 ・小中学校において、各教科や特別活動等の学習を通して、男女平等を含む人権教育について意識を高める教育を実施する。 ・思春期健康教室等により児童生徒に命の大切さを学ばせる。

D O (実施)	R4年度の実施結果 ※簡条書きで具体的に記入 (添付書類 有 ・ 無 )					
	内容		回数	参加者数(男女別)		
	①幼児期において、人との関わりの中で道徳性を養えるような教育を実施した。 ②社会科や道徳科を中心に全教育活動を通して、人権的な視点から学習を進めた。特に学校行事や特別活動において男女の区別無く役割を決め活動を行った。 ③思春期健康教室を行った。(19校中 9校実施)					
	R4年度の数値成果		R3(参考)	R5(参考)	R6(参考)	R7(参考)
	R4予算額(千円)		R4決算見込額		R5予算額	
0		0		0		

C H E C K (評価)	【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点
	<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) <input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) <input type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠)各幼稚園、各小中学校において、幼稚園教育要領や学習指導要領に基づいた指導計画を作成し、学習の中で男女平等の意識を高めることができた。 男女混合名簿の採用、各行事の役割分担など男女平等の意識の元に、教育活動が運営されている。  (課題・問題点)男女共同参画の視点のみで、授業展開することや数値で評価することは難しい。

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	①幼稚園、各小中学校において、男女平等を含む人権教育について、全教育活動を通して指導していく。 ②固定的な性別役割分担意識にとられない学校行事等の活動

CHECK (評価)	【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等		
	<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	<p>(評価の根拠) 日々の学習の中で男女平等等の意識を高めることができている。</p> <p>(課題・問題点) 思春期健康教室19校すべてで開催できるよう努めていただきたい。</p>		
	<b>itadakitai</b>		
	【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	項目評価基準	評価	【項目評価基準】
	(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している 【90%以上】
	(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【70%以上】
	(c) 課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
	(d) 適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である 【50%未満】
総合評価とその判定理由			
<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)	
<p>日々の学習の中で、男女平等等の意識を高める努力がされている。</p> <p>思春期健康教室は19校すべてで行うべき。</p>			
改善策等の提言			
<p>人権についての学習は継続し反復して行うことで、結果として男女共同参画に結実するので取り組みの継続を求む。道徳の時間を利用して人権(特に子どもたちの中でのいじめや家庭内における虐待やDV等)についても学ぶ機会を作り、子どもたちを守るよう工夫されたい。</p> <p>毎年、「男女共同参画の視点のみで授業展開することや数値で評価することは難しい」と記載してあるが、男女共同参画の視点に立った教育・学習の推進が主要課題。学校教育全体を通じて、自立の意識を育む教育、一人ひとりの個性や能力を尊重し、児童生徒が主体的に学び、考え、行動する姿勢を育む教育を推進することが目的。</p>			

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	10	基本目標	Ⅱ あらゆる暴力の根絶
事業名	DV防止に関する意識啓発	主要課題	Ⅱ-1 暴力の防止と被害者支援の充実
課係名	子育て支援課	施策の方向	(1)DV、虐待防止啓発の推進

A C T (改善)	R3年度末における次年度における取り組み(予定) ※R3年度報告書より再掲
	引き続き様々な機会を通じて、DV防止に関する周知・啓発活動を実施していく。

P L A N (計画)	<b>第4次計画に定められた具体的取り組み計画</b>
	DVが人権侵害であるという観点から、配偶者・パートナーに対する暴力を許さない社会づくりをテーマとした講演会等への参加を促進します。また、若年層向けにデートDVに関する正しい理解を促進するための啓発に努めます。
	<b>第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標</b>
	配偶者・パートナーに対する暴力をなくす運動の周知 年1回以上
	<b>R4年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入</b>
	①被害者への自立支援として、県が実施する法律や就職準備のための講座への参加を促進する。 ②毎年11月の「女性に対する暴力をなくす運動」にあわせ、街頭啓発を実施する。 ③市内公共施設にDV相談カードやステッカーを配布し、DV防止啓発活動に取り組む。

D O (実施)	<b>R4年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 有 ・ 無 )</b>					
	内容		回数	参加者数(男女別)		
	①11月の女性に対する暴力をなくす運動月間について広報もばらに掲載し、周知を図った。 ②市庁舎、本納支所等の市内公共施設にDV防止に関するポスターを掲示。 ③11月の「女性に対する暴力をなくす運動」推進月間時に周知用のチラシを各自治会に回覧。		①1回 ③1回	/		
	<b>R4年度の数値成果</b>		R3(参考)	R5(参考)	R6(参考)	R7(参考)
	配偶者・パートナーに対する暴力をなくす運動の周知 2回		1回	/	/	/
	<b>R4予算額(千円)</b>		<b>R4決算見込額</b>		<b>R5予算額</b>	
0		0		0		

C H E C K (評価)	<b>【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点</b>
	<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) <input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) <input type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) ・広報誌や公共施設へのポスターの掲示、自治会への啓発チラシの回覧を行い、周知、啓発に努めた。 (課題・問題点) ・若年層へに対する啓発への取り組み。

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	引き続き様々な機会を通じ、DV防止に関する啓発に努める。

CHECK (評価)	【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等		
	<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠)ポスター掲示や講座への参加を促す等、定期的な啓発に努めている。		
	(課題・問題点)若年層だけでなく幅広い年齢への啓発に努める必要がある。女性に対する暴力だけでなく男性に対する暴力にも焦点を当て、誰一人取り残さない工夫を続けていただきたい。		
	<b>重点評価事業</b>		
	【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	項目評価基準	評価	【項目評価基準】
	(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している 【90%以上】
	(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【70%以上】
	(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか	3	1…不十分である 【50%未満】	
総合評価とその判定理由			
<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)	
定期的な啓発に努めている。 若年層に対する啓発の取り組みが行われていない。			
改善策等の提言			
若年層の啓発に関してより一層充実されたい。高校生や大学生が対象となるので県の機関との連携を。男性に対する暴力にも焦点を当てる。被害者ばかりではなく加害者になる可能性もあることを周知してもらう。			



茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	11	基本目標	Ⅱ あらゆる暴力の根絶
事業名	DVIに関する相談窓口等の充実と周知徹底	主要課題	Ⅱ-1 暴力の防止と被害者支援の充実
課係名	子育て支援課	施策の方向	(1)DV、虐待防止啓発の推進

A C T (改善)	R3年度末における次年度における取り組み(予定) ※R3年度報告書より再掲
	①DV相談窓口に関する情報を広報もばらへ掲載 ②公共施設のトイレにDVステッカーを設置 ③DV相談カードの配布 ④専門的研修会への参加

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画
	国・県等の関係機関、庁内の関係各課との連携により、被害者の保護や情報収集に努めます。また、家庭児童相談員を配置し、相談窓口の充実を図るとともに、広報もばらや市公式ウェブサイト、パンフレット、ポスター、啓発物資の配布等により積極的な周知を行います。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標
	・相談窓口の周知・啓発回数 年1回以上 ・DVに関する研修参加 年2回以上
D O (実施)	R4年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入
	①DV相談対応職員の資質や知識の向上を図るため、県が主催する研修に積極的に参加する。 ②広報もばらや市公式ウェブサイトへの掲載やポスターの提示、パンフレット、啓発物資の配布等により周知を図る。

D O (実施)	R4年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 有 ・ 無 )				
	内容		回数	参加者数(男女別)	
	①DV相談窓口に関する広報もばらへの掲載(毎月掲載)		①12回	/	
	②公共施設の男女トイレにDV相談ステッカーを設置(市庁舎、本納支所等、計16か所の公共施設に設置)		⑤1回		
	③DV相談カードの配布(子育て支援課、本納支所、保健センター窓口に配布)				
	④DV防止に関する記事を市公式ウェブサイトに随時掲載				
⑤11月の「女性に対する暴力をなくす運動」推進月間時に周知用のチラシを各自治会に回覧					
R4年度の数値成果		R3(参考)	R5(参考)	R6(参考)	R7(参考)
・相談窓口の周知・啓発回数 12回		・12回			
・DVに関する研修参加 20回		・18回			
R4予算額(千円)		R4決算見込額		R5予算額	
0		0		0	

C H E C K (評価)	【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点
	<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) <input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) <input checked="" type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 概ね計画どおりに実行できた。 (課題・問題点) 担当職員の更なる能力の向上とDV専門の相談担当職員の配置についての検討。

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	①DV相談窓口に関する広報もばらへの掲載 ②公共施設のトイレにDVステッカーを設置 ③DV相談カードの配布

CHECK (評価)	<b>【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等</b>		
	<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	<p>(評価の根拠)研修等に積極的に参加し内部の相談対応職員の資質や知識の向上を図れている。</p> <p>(課題・問題点)次年度は今まで以上に高い意識を持ち、啓発方法の工夫をするだけでなく、根本改善に向けた取り組みをする必要がある。</p>		
	<b>重点評価事業</b>		
	<b>【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点</b>		
	<b>項目評価基準</b>	<b>評価</b>	<b>【項目評価基準】</b>
	(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	<b>3</b>	4…十分達成している 【90%以上】
	(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	<b>3</b>	3…概ね達成されている 【70%以上】
	(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	<b>3</b>	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
	(d)適切な数値目標が提示されているか	<b>3</b>	1…不十分である 【50%未満】
<b>総合評価とその判定理由</b>			
<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)	
<p>DVに関する研修参加が積極的に行われている。</p>			
<b>改善策等の提言</b>			
<p>担当職員の更なる能力の向上とDV専門の相談担当職員の配置についての検討は行うべき。根本改善に向けた取り組みをする必要がある。 啓発物品の配布先に市内のコンビニや大型店舗等にも協力を仰ぎ、より多くの市民の目に触れるようにされたい。(昨年も提案)</p>			

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	12	基本目標	Ⅱ あらゆる暴力の根絶
事業名	障害者(児)の虐待防止	主要課題	Ⅱ-1 暴力の防止と被害者支援の充実
課係名	障害福祉課	施策の方向	(1)DV、虐待防止啓発の推進

A C T (改善)	R3年度末における次年度における取り組み(予定) ※R3年度報告書より再掲
	今後も障害者虐待防止研修等へ参加するよう努める。また、障害者虐待通報に関しては、関係各課及び関係機関と連携し、適切に対応する。

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画
	障害の有無や性別にとらわれず、人としての尊厳を保ち、安心して暮らしていけるよう、虐待に対する相談支援を行います。また、障害者虐待の相談窓口及び通報業務について、市公式ウェブサイト等を利用し、周知します。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標
	R4年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入
	①担当職員の資質向上のため、障害者虐待防止研修会等に積極的に参加する。 ②障害者虐待の相談窓口等について、市公式ウェブサイト等を活用し、周知活動を行う。 ③障害者虐待通報があった場合は、中核地域生活支援センター等の関係機関と連携し、適切に対応する。

D O (実施)	R4年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 有 ・ 無 )					
	内容		回数	参加者数(男女別)		
	①県等が主催する障害者虐待防止研修に参加し、虐待に関する相談・指導・援助についての対応技能を取得した。 ②障害者虐待について、公式ウェブサイトや市の窓口でパンフレットを設置する等、周知活動を行った。また、関係機関と協同でグループホーム従事者向けに虐待防止の講演会を実施した。 ③虐待通報については、事実確認を実施し、必要に応じて保健所・関係各課・中核地域生活支援センター等の関係機関と連携し、障害のある人や家族への支援を行った。		2回  講演会 1回  通報件数 19件	男2名、女0名 延2名参加		
	R4年度の数値成果		R3(参考)	R5(参考)	R6(参考)	R7(参考)
	R4予算額(千円)		R4決算見込額		R5予算額	
0		0		0		

C H E C K (評価)	【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点
	<input checked="" type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) <input type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) <input type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 虐待対応に従事する職員の異動がなかったため、前年度より回数は減少しているが、職員のスキルアップのための研修へ参加したことで、虐待に関する相談・指導・援助についての対応技法を取得し、適切に障害者虐待事案に対応することができた。  (課題・問題点) 引き続き、職員のスキルアップをはかり、虐待通報に対して適切な対応を行う必要がある。

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	今後も障害者虐待防止研修等へ参加するよう努める。また、障害者虐待通報に関しては、関係各課及び関係機関と連携し、適切に対応する。

CHECK (評価)	<b>【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等</b>		
	<input checked="" type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	<p>(評価の根拠)積極的に研修に参加し相談支援のスキルアップを行なっている。</p> <p>(課題・問題点)異動があった場合の引継ぎ等をしっかり行い継続的なスキルアップをはかっていく必要がある。</p>		
	<b>重点評価事業</b>		
	<b>【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点</b>		
	<b>項目評価基準</b>	<b>評価</b>	<b>【項目評価基準】</b>
	(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	4	4…十分達成している 【90%以上】
	(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	4	3…概ね達成されている 【70%以上】
	(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
	(d)適切な数値目標が提示されているか	/	1…不十分である 【50%未満】
<b>総合評価とその判定理由</b>			
<input checked="" type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)	
積極的に研修に参加してスキルアップを行っている。			
<b>改善策等の提言</b>			
<p>関係機関と協同で行う従事者向け虐待防止の講演会は、引き続き実施されたい。</p> <p>関係機関との連携を良好にするために、連絡会議等の開催について検討されたい。</p>			

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	13	基本目標	Ⅱ あらゆる暴力の根絶
事業名	高齢者の虐待防止	主要課題	Ⅱ-1 暴力の防止と被害者支援の充実
課係名	高齢者支援課	施策の方向	(1)DV、虐待防止啓発の推進

A C T (改善)	R3年度末における次年度における取り組み(予定) ※R3年度報告書より再掲
	広報掲載等を通じて高齢者見守りネットワーク事業の周知を図る。

P L A N (計画)	<b>第4次計画に定められた具体的取り組み計画</b>
	高齢者の威厳の保持のため、高齢者虐待に係る相談、指導・助言、通報・届出の受理、高齢者の安全確認や事実確認等を行い、高齢者虐待の防止についてパンフレットを用いて周知します。また、高齢者見守りネットワークを用いて、高齢者虐待の早期発見・予防に努めます。
	<b>第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標</b>
	高齢者見守りネットワーク新規協力事業所 年1事業所以上
	<b>R4年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入</b>
	広報掲載等を通じて高齢者見守りネットワーク事業の周知を図り、新たな事業所を最低1事業所増やす。

D O (実施)	<b>R4年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 有 ・ 無 )</b>					
	内容		回数	参加者数(男女別)		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者見守りネットワーク事業について、外房薬剤師会 会長に説明を行い、賛同を得たため、覚書を締結する予定。締結後、外房薬剤師会に所属する茂原市内の薬局(53事業所)が加入事業所となる。</li> <li>・高齢者虐待の通報・報告は2月末時点で28件。警察からの報告が1番多かった。報告があった件については、委託地域包括支援センターと連携して対応した。また、見守りネットワーク事業に加入している新聞会社から新聞がたまっていると連絡を受け、安否確認のため訪問した事例が複数あった。</li> </ul>					
	<b>R4年度の数値成果</b>		R3(参考)	R5(参考)	R6(参考)	R7(参考)
	高齢者見守りネットワーク新規協力事業所53事業所(予定)		1事業所			
	<b>R4予算額(千円)</b>		<b>R4決算見込額</b>		<b>R5予算額</b>	
0		0		0		

C H E C K (評価)	<b>【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点</b>
	<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) <input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) <input type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 高齢者見守りネットワーク事業について、地域の高齢者と関わる機会が多い薬局の賛同を得られ、見守り体制の強化につながった。また、見守りネットワークに加入している業者からの連絡で安否確認ができたケースがあった。 (課題・問題点) 見守りネットワーク加入事業者への定期的な意識付けが必要。

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	見守りネットワーク加入事業者に対し、年に1回は事例やマニュアル等を送り意識づけを行う。

CHECK (評価)	<b>【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等</b>		
	<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	<p>(評価の根拠)見守りネットワーク事業の事業所新規獲得に向けて積極的なアプローチが出来ている。</p> <p>(課題・問題点)事業所を増やすことによる通報報告件数の増加に対応できるような職員側の準備をする必要がある。</p>		
	<b>重点評価事業</b>		
	<b>【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点</b>		
	<b>項目評価基準</b>	<b>評価</b>	<b>【項目評価基準】</b>
	(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	<b>3</b>	4…十分達成している 【90%以上】
	(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	<b>3</b>	3…概ね達成されている 【70%以上】
	(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	<b>3</b>	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
	(d)適切な数値目標が提示されているか	<b>3</b>	1…不十分である 【50%未満】
<b>総合評価とその判定理由</b>			
<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)	
<p>推進委員会と同意見。</p>			
<b>改善策等の提言</b>			
<p>推進委員会と同意見。 見守りネットワーク加入事業所の数を増やすことが最終目的ではなく、虐待防止のための見守りを行うことが目標。加入事業所に事例やマニュアルを送付するなど、ネットワーク内活動の充実を図ることが重要なので、この点にも注力することを望む。</p>			

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	14	基本目標	II あらゆる暴力の根絶
事業名	関係機関との連携の強化	主要課題	II-1 暴力の防止と被害者支援の充実
課係名	子育て支援課	施策の方向	(2)被害者に対する支援、相談の充実

A C T (改善)	R3年度末における次年度における取り組み(予定) ※R3年度報告書より再掲
	引き続き、庁内支援体制の強化を図り、DV被害者の安全確保と自立に向けた支援に取り組む。

P L A N (計画)	<b>第4次計画に定められた具体的取り組み計画</b>
	地域配偶者暴力相談支援センター(長生健康福祉センター)、女性サポートセンター、警察、中核地域生活支援センターなどの関係機関との連携を強化し、シェルターへの避難など緊急的対応の充実を図ります。また、外国人や高齢者、障害者等のDV被害者の対応について、庁内連携体制の強化を図るとともに、情報の共有や漏洩防止に努めます。
	<b>第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標</b>
	DV等に関する庁内連携会議開催 年1回以上
	<b>R4年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入</b>
	①庁内におけるDV支援の連携・強化を図るため、関係課による連携会議を開催する。 ②茂原警察署や長生健康福祉センター(県配偶者暴力相談支援センター)と連携を密にし被害者支援に努める。

D O (実施)	<b>R4年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 有 ・ 無 )</b>					
	内容		回数	参加者数(男女別)		
	夫からのDV被害により、長生健康福祉センターと合同での面談を実施し、茂原警察署と連携して母と3人の児童を女性保護施設(シェルター)に入所避難を行った。		1	/		
	<b>R4年度の数値成果</b>		R3(参考)	R5(参考)	R6(参考)	R7(参考)
	長生健康福祉センターや茂原警察署と連携しての支援 1回		1回	/		
	<b>R4予算額(千円)</b>		<b>R4決算見込額</b>		<b>R5予算額</b>	
0		0		0		

C H E C K (評価)	<b>【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点</b>
	<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) <input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) <input type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) DVIに悩む支援希望者からの相談に適切に対応し、生活再建に向けての支援を実施した。 (課題・問題点) DV加害者から一旦は避難し自立家庭が、新たなパートナーからの暴力に悩まされるケースへの対応。

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	引き続き、関係機関との連携を密にし、被害者支援に取り組む。

CHECK (評価)	<b>【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等</b>		
	<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠)各機関との連携を図り適切な支援が実行されている。		
	(課題・問題点)日頃から定期的な会議や研修等に参加し、連携体制の強化や被害者のプライバシー保護に繋がっていただきたい。また、長期的な被害者側のアフターケアや意識改善の支援が行えるような工夫が必要である。		
	<b>重点評価事業</b>		
	<b>【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点</b>		
	<b>項目評価基準</b>	<b>評価</b>	<b>【項目評価基準】</b>
	(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	<b>3</b>	4…十分達成している 【90%以上】
	(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	<b>3</b>	3…概ね達成されている 【70%以上】
	(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	<b>3</b>	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか	<b>3</b>	1…不十分である 【50%未満】	
<b>総合評価とその判定理由</b>			
<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)	
推進委員会と同意見。			
<b>改善策等の提言</b>			
庁内の関係課との連携会議は開催されているが、警察や配偶者暴力支援センター等の関係機関とのネットワーク連絡会議の開催や参加についても検討されたい。事が起きてから動くのではなく、長い支援も必要になるので日頃から連携を図ることが大事と考える。			



茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	15	基本目標	Ⅲ さまざまな分野における男女共同参画
事業名	男女共同参画によるまちづくりの推進と審議会等委員への女性参画の拡大	主要課題	Ⅲ-1 政策・方針決定過程における男女共同参画
課係名	企画政策課	施策の方向	(1)市政における政策・方針決定過程への男女共同参画の推進

A C T (改善)	R3年度末における次年度における取り組み(予定) ※R3年度報告書より再掲
	今年度できなかったヒヤリングを実施し、各審議会等の課題を把握する。

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画
	市民協働によるまちづくり推進を担う各団体において、意思決定過程における男女共同参画を促進するとともに、審議会等委員の選定にあたっては公募枠の拡大、代表者に限定しない適任者の推薦などを依頼し、女性の登用を促進します。特に、女性委員のいない団体や審議会等をなくすことを目指し、女性の参画拡大を図ります。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標
	審議会等における女性委員の登用率 30%以上
	R4年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入
	①審議会等における女性の登用率について調査する。 ②審議会等における女性の参加促進について各担当課に依頼するとともに、難しい場合は理由をヒヤリングする。

D O (実施)	R4年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 有 ・ 無 )					
	内容		回数	参加者数(男女別)		
	①審議会等における女性の登用率について調査した。 ②審議会等における女性の参加促進について各担当課に依頼し、特に女性が1人もいない審議会等についてはヒヤリングをした。		①1回 ②1回			
	R4年度の数値成果		R3(参考)	R5(参考)	R6(参考)	R7(参考)
	審議会等における女性委員の登用率 24.4%		23.00%			
	R4予算額(千円)		R4決算見込額		R5予算額	
0		0		0		

C H E C K (評価)	【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点
	<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) <input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) <input type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 調査を行い、女性が1人もいない審議会等についてはヒヤリングを行った。 (課題・問題点) ヒヤリングを行った結果、審議会委員およびそれを所管する部署は、女性の登用を積極的に行いたい意思はあるが、どこも専門職で女性の人材不足という状況がうかがえる。

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	引き続き調査およびヒヤリングを行い、その結果を男女共同参画社会づくり推進協議会委員等と共有し、解決策を検討する。

CHECK (評価)	<b>【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等</b>		
	<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 女性登用率の調査により現状を把握することができている。		
	(課題・問題点) 審議会等の女性登用率の上昇以前に、女性人材の確保に努める必要がある。また、女性の登用率が増加している審議会等にもヒヤリングを行うなど様々な意見を吸収する工夫をしていただきたい。		
	<b>重点評価事業</b>		
	<b>【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点</b>		
	<b>項目評価基準</b>	<b>評価</b>	<b>【項目評価基準】</b>
	(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	<b>3</b>	4…十分達成している 【90%以上】
	(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか	<b>3</b>	3…概ね達成されている 【70%以上】
	(c) 課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	<b>3</b>	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d) 適切な数値目標が提示されているか	<b>3</b>	1…不十分である 【50%未満】	
<b>総合評価とその判定理由</b>			
<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)	
女性の登用率の調査により現状把握ができている。 数値目標は達成されていないが引き続き30%以上を目標に。			
<b>改善策等の提言</b>			
茂原市における審議会・協議会の委員の多くは、関連する各団体からの選出となっているが、できるだけ一定数は公募の委員が望ましい。さらに調査とヒヤリングを行って、課題を明確にするようにして、実際に任命する担当各課と共有し具体的なステップを提案されたい。女性だけでなく、若年層にも働きかけて欲しい。			

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	16	基本目標	Ⅲ ささまざまな分野における男女共同参画
事業名	市女性職員の登用の推進	主要課題	Ⅲ-1 政策・方針決定過程における男女共同参画
課係名	職員課	施策の方向	(1)市政における政策・方針決定過程への男女共同参画の推進

A C T (改善)	R3年度末における次年度における取り組み(予定) ※R3年度報告書より再掲
	今後も積極的に女性を登用するとともに、能力・意識向上のための研修参加など女性の成長を支援し、長期的な視点に立った育成やキャリア形成を図る。

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画
	男女を問わず採用・登用し、性別にとらわれない人事配置を行います。また、女性職員がその能力特性を十分発揮し、政策・方針決定過程への参画を通して管理職へ積極的に登用されるよう、人材育成の方策について検討します。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標
	管理職に占める女性の割合 30%以上
D O (実施)	R4年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入
	・働き方改革を推進し、男女問わず働きやすい職場づくりに努め、管理職として活躍できる環境整備に努める。 ・係長相当職への昇格を男女分け隔てなく行い、女性の管理職への登用についても積極的に推進する。

D O (実施)	R4年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 有 ・ 無 )				
	内容		回数	参加者数(男女別)	
	令和4年度管理職への登用状況(R4.4.1現在) 管理職に占める女性の割合 17.39%		17.39%	115人(男95人・女20人)	
	9級(部長職) 0人/8人				
	8級(次長職) 1人/10人				
	7級(課長級) 7人/39人				
6級(補佐級) 12人/58人					
R4年度の数値成果		R3(参考)	R5(参考)	R6(参考)	R7(参考)
管理職に占める女性の割合 17.39%		18.10%			
R4予算額(千円)		R4決算見込額		R5予算額	
0		0		0	

C H E C K (評価)	【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点
	<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) <input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) <input type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠)積極的な登用は行っているが、目標数値には達していない。目標に対して達成度は、5割程度となっているが、登用された女性は政策・方針決定などに参画し、実力を発揮している。 (課題・問題点)女性の登用に当たっては、本人の意欲や責任感の醸成が必要であるとともに、長期的視点にたって対応を図る必要がある。研修参加のみならず、人事評価制度を活かし登用を図る必要がある。

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	今後も積極的に女性の登用を図る。

CHECK (評価)	<b>【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等</b>		
	<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠)女性の積極的な登用に取り組み、実例を作ることで、女性職員への意識向上へとつながっている。		
	(課題・問題点)個人的な面談やヒヤリングを実施し、むりのない登用や、登用後の気持ちのケア等に考慮していただきたい。また、男女にとらわれない人事配置を行うための工夫が必要である(逆人事評価の導入等の検討)。		
	<b>重点評価事業</b>		
	<b>【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点</b>		
	<b>項目評価基準</b>	<b>評価</b>	<b>【項目評価基準】</b>
	(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	<b>3</b>	4…十分達成している 【90%以上】
	(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	<b>3</b>	3…概ね達成されている 【70%以上】
	(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	<b>3</b>	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか	<b>3</b>	1…不十分である 【50%未満】	
<b>総合評価とその判定理由</b>			
<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)	
女性の積極的な登用に取り組んでいる。 登用された女性が実力を発揮している。			
<b>改善策等の提言</b>			
男女にとらわれない人事は必要だと思うが、女性の場合は特に長期的視点に立って育成し、対応するべきである。女性が持っている能力を十分発揮できるように職場環境と家庭環境が改善されることが重要であり、男性の意識も変わっていくよう啓発の場を作るなどの工夫をされたい。			

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	17	基本目標	Ⅲ さまざまな分野における男女共同参画
事業名	市女性職員の活躍推進のための研修への参加機会の確保・拡大	主要課題	Ⅲ-1 政策・方針決定過程における男女共同参画
課係名	職員課	施策の方向	(1)市政における政策・方針決定過程への男女共同参画の推進

A C T (改善)	R3年度末における次年度における取り組み(予定) ※R3年度報告書より再掲
	引続き研修に積極的に派遣するとともに、研修後も女性職員との交流や情報交換を通じて、新たな価値観や人間関係が形成できるような職場環境整備につなげていく。

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画
	女性職員の人材育成の観点から、関係機関での研修を活用するなど、市女性職員の活躍推進のための研修等への参加機会の確保・拡充を図ります。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標
	市女性職員の活躍推進のための研修への参加人数 年5人以上
	R4年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入
	千葉県自治研修センター等が実施する女性職員のための研修に、積極的に職員を派遣する。

D O (実施)	R4年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 有 ・ 無 )					
	内容		回数	参加者数(男女別)		
	令和4年度は6名の女性職員が能力開発のための研修に参加した。 ・千葉県自治研修センター「女性活躍推進研修」(2日間)1名 ・インソース「女性のためのスマートワーク研修」(1日間)5名		年6人	6名(男0名・女6名)		
	R4年度の数値成果		R3(参考)	R5(参考)	R6(参考)	R7(参考)
	市女性職員の活躍推進のための研修への参加人数 6人		5人			
	R4予算額(千円)		R4決算見込額		R5予算額	
	62		136		57	

C H E C K (評価)	【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点
	<input checked="" type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) <input type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) <input type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 係長相当職を自治研修センターの研修に派遣し女性リーダーの育成に努めるとともに、若手職員へも対象を広げ研修に参加させた。 (課題・問題点) 職員の通常業務があるなか研修の義務付けや宿泊型の研修の実施は難しく、業務の妨げにならない頻度で効果が大きいものに絞って実施する必要がある。

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	引続き研修に積極的に派遣するとともに、オンラインの研修を活用し、研修参加への意識を高める。

CHECK (評価)	【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等		
	<input checked="" type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	<p>(評価の根拠) 数値目標は達成している。研修の対象を広げている。</p> <p>(課題・問題点) オンラインを活用し、若手が受けれる機会を増やし、受講人数の増加に努められたい。</p>		
	<b>重点評価事業</b>		
	【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	項目評価基準	評価	【項目評価基準】
	(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	4	4…十分達成している 【90%以上】
	(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【70%以上】
	(c) 課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
	(d) 適切な数値目標が提示されているか	3	1…不十分である 【50%未満】
総合評価とその判定理由			
<input checked="" type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)	
<p>研修に積極的に職員を派遣している。派遣対象も広げている。 だが、研修の参加人数が少なすぎる。</p>			
改善策等の提言			
<p>オンライン研修を活用して受講人数の増加に努められたい。 宿泊型の研修は難しいとは思いますが、何とか環境の整備を図られたい。得るものは大きいと思う。 自治研修センターに子育て中の職員も参加できるように改善を提案することも必要。 研修に参加できなかった職員へ得たものを広げていける工夫も必要。</p>			

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	18	基本目標	Ⅲ ささまざまな分野における男女共同参画
事業名	市民活動における男女共同参画の促進	主要課題	Ⅲ-2 地域社会における男女共同参画
課係名	生活課	施策の方向	(1)地域における男女共同参画の促進

A C T (改善)	R3年度末における次年度における取り組み(予定) ※R3年度報告書より再掲
	引き続き、講座や市民活動団体交流会「まちびとカフェ」を通じて、地域におけるまちづくりへの理解を深めるとともに、意思決定過程における男女共同参画の促進に努める。

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画
	男女が共に市民活動に参画することの意義について理解を深めることができるよう、自治会長連合会や社会福祉協議会、市民活動団体等の関係団体と連携し、あらゆる機会を通じて意識啓発を図ります。また、市内のボランティア・NPO活動に関する広報・普及活動を行い、市民活動に対する理解の向上、参加促進等を図るとともに、地域の活力向上に資するよう、市民活動に関する情報の共有に努めます。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標
	認定市民活動団体のうち、「男女共同参画」分野に取り組む団体数 年5団体以上
D O (実施)	R4年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入
	・講演会等を実施する際、男女がともに自治会活動や地域でのボランティア活動に参加できるよう、地域活動における男女共同参画についての周知を図る。 ・市民活動団体の支援の際、男女共同参画の取り組みを促す。

D O (実施)	R4年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 有 ・ 無 )					
	内容		回数	参加者数(男女別)		
	・茂原市自治会長連合会による主催で、11月に「被災時におけるお金と法的支援について」(講師:銀座パートナーズ法律事務所 岡本正氏)、12月に「自治会おもてなし講座」(講師:さくらコミュニケーションズ 古川智子氏)の講演会を開催した。 ・千葉工業大学非常勤講師の青木秀幸氏を講師に招き、市民活動団体交流会まちびとカフェ特別版「市民活動の再始動」を開催した。		2回  1回	73名(男性64名・女性9名)  16名(男性12名・女性4名)		
	R4年度の数値成果		R3(参考)	R5(参考)	R6(参考)	R7(参考)
	認定市民活動団体のうち、「男女共同参画」分野に取り組む団体数 7団体		6団体			
	R4予算額(千円)		R4決算見込額		R5予算額	
2589		2448		2629		

C H E C K (評価)	【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点
	<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) <input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) <input type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠)講演会や講座の開催により、地域におけるまちづくりへの理解を深め、性別を問わず、より多くの市民が参加できるよう、意識の醸成に努めた。  (課題・問題点)以前に比べて、地域におけるまちづくりに男女がともに参加する機運は高まっているが、依然として主導的立場の女性が少なく、意思決定過程における男女共同参画が進んでいないのが実情である。

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	講演会や講座の開催により、引き続き、地域におけるまちづくりへの理解を深め、性別を問わず、より多くの市民が参加できるよう、意識の醸成に努めるとともに、意思決定過程における男女共同参画の促進に努める。

CHECK (評価)	【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等		
	<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	<p>(評価の根拠) 参加者における女性の比率が低い。団体数は増加し、講演会も開催している。</p> <p>(課題・問題点) 主導的立場の女性が少ない。意思決定過程における男女共同参画を推進されたい。</p>		
	<b>重点評価事業</b>		
	【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	<b>項目評価基準</b>	<b>評価</b>	<b>【項目評価基準】</b>
	(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	<b>3</b>	4…十分達成している 【90%以上】
	(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか	<b>3</b>	3…概ね達成されている 【70%以上】
	(c) 課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	<b>3</b>	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
	(d) 適切な数値目標が提示されているか	<b>3</b>	1…不十分である 【50%未満】
総合評価とその判定理由			
<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)	
<p>推進委員会の意見に同じ。</p>			
改善策等の提言			
<p>意思決定過程における女性の参画が相変わらず低い。この課題の対応に向けた方策を考えて欲しい。自治会もこのままでは行き詰まると思う。男女がもっと協力し合う街づくりを考えていかないと。連合自治会の役員会で議論してはどうか。</p>			



茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	19	基本目標	Ⅲ さまざまな分野における男女共同参画
事業名	父親に子育てに関する学習機会の提供	主要課題	Ⅲ-3 家庭における男女共同参画
課係名	生涯学習課	施策の方向	(1)家庭生活における男女共同参画の促進

A C T (改善)	R3年度末における次年度における取り組み(予定) ※R3年度報告書より再掲
	引き続き、各家庭教育学級を通じて家庭生活における男女共同参画の意識の啓発を図る。

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画
	家庭教育学級などにおいて、父親の子育ての意識を高める内容を取り入れるなど、父親の積極的な子育ての参加を促進するための学習機会を提供し、子育てを共にする意識の啓発を図ります。また、父親が参加しやすいよう、講座・講習会・研修視察等を土日にも開催し、男女共同参画の高揚を図ります。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標
	・家庭教育学級の開催回数 年60回 ・家庭教育学級の父親参加者 年350人以上
D O (実施)	R4年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入
	①幼児期家庭教育学級の開催 ②就学時子育て講座 ③幼稚園・小学校家庭教育学級の開催
	R4年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 無)

内容		回数	参加者数(男女別)		
①幼児期(3歳児)家庭教育学級		①3回	①30人(男2人、女28人)		
②就学時子育て講座		②12回	②510人(男14人、女496人)		
③幼稚園・小学校家庭教育学級		③31回	③504人(男103人、女401人)		
R4年度の数値成果		R3(参考)	R5(参考)	R6(参考)	R7(参考)
・家庭教育学級の開催回数 46回 ・家庭教育学級の父親参加者 119人		・31回 ・57人			
R4予算額(千円)		R4決算見込額		R5予算額	
595		291		477	

C H E C K (評価)	【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点
	<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) <input type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) <input checked="" type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠)昨年度よりコロナ禍の影響が落ち着き多少持ち直したものの、時期によっては中止や縮小をした事業があったため、開催回数は目標を下回った。また、もう一つの指標である父親参加者数は、昨年より増えてはいるが目標達成には遠い状況である。  (課題・問題点)幼児期(3歳児)家庭教育学級の男性参加率が特に低い。

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	募集方法や内容を工夫し、男性が参加しやすい環境を整えていく。

CHECK (評価)	<b>【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等</b>		
	<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input checked="" type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠)開催回数、父親参加数ともに目標を下回っている。		
	(課題・問題点)父親が参加しやすい土・日曜開催などの環境整備に努められたい。		
	<b>重点評価事業</b>		
	<b>【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点</b>		
	<b>項目評価基準</b>	<b>評価</b>	<b>【項目評価基準】</b>
	(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	<b>3</b>	4…十分達成している 【90%以上】
	(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	<b>3</b>	3…概ね達成されている 【70%以上】
	(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	<b>2</b>	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか	<b>2</b>	1…不十分である 【50%未満】	
<b>総合評価とその判定理由</b>			
<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)	
数値目標に達していないものの、達成努力の数値としては評価できる。			
<b>改善策等の提言</b>			
父親対象に講座内容や開催曜日などアンケートを取ってはどうか。父親が家庭教育などに参加することの子どもへの良い影響などを周知することなども必要かと思う。			

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	20	基本目標	Ⅲ ささまざまな分野における男女共同参画
事業名	男性の家庭参画を促す講座等の実施	主要課題	Ⅲ-3 家庭における男女共同参画
課係名	東部台文化会館	施策の方向	(1)家庭生活における男女共同参画の推進

A C T (改善)	R3年度末における次年度における取り組み(予定) ※R3年度報告書より再掲
	教室の内容や講師などを再度検討し、家庭生活に生かせる教養の向上や健康の増進につながる教室を開催できるよう取り組む。

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画
	男女が対等な家族の構成員として互いに尊重し協力し合えるよう、男性も参加しやすい料理教室やその他生活に根ざした実践的な講座等を開催し、男性の家庭参画を促進します。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標
	・男性の家庭参画を促す講座の開催 年5回以上 ・男性の家庭参画を促す講座の参加者 年90人以上
D O (実施)	R4年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※簡条書きで具体的に記入
	・「男の健康教室」を開催する。 ・日常生活に簡単に取り入れられる薬膳的養生を学び、自身や家族の健康維持に役立てる。 ・体を動かすヨガでリフレッシュし、習得したヨガを家庭生活において実践する。

D O (実施)	R4年度の実施結果 ※簡条書きで具体的に記入 (添付書類 有 ・ 無 )					
	内容		回数	参加者数(男女別)		
	・「男の健康教室」を8回実施。 ・10月18日、25日、11月22日、29日、12月20日、27日、1月10日、17日 (全8回、火曜日) 9時30分～11時30分 開催 ・内容は、日常生活に簡単に取り入れられる薬膳的養生を学び、体を動かすヨガでリフレッシュを図る。学んだ薬膳的養生の知識を料理等に反映することや習得したヨガについて、家庭生活にて知識の共有及びヨガを実践することにより健康の増進を図る。		8回	延べ71名 (男34名、女37名)		
	R4年度の数値成果		R3(参考)	R5(参考)	R6(参考)	R7(参考)
	・男性の家庭参画を促す講座の開催 8回 ・男性の家庭参画を促す講座の参加者 71人		・0回 ・0人			
	R4予算額(千円)		R4決算見込額		R5予算額	
61		61		61		

C H E C K (評価)	【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点
	<input checked="" type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) <input type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) <input type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 参加者が、薬膳的養生の知識や体を動かすヨガについて習得したことを家庭生活等で共有することにより、家庭生活における教養の向上や健康の増進が図られ、男女共同参画の意識啓発の推進にも寄与することができた。 (課題・問題点) 家庭生活における教養の向上や健康の増進につながるより充実した内容の教室を開催し、男女共同参画の意識啓発を広める。

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	教室の内容などを考慮し、家庭生活に生かせる教養の向上や健康の増進につながる教室を開催できるよう取り組む。

CHECK (評価)	<b>【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等</b>		
	<input checked="" type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 講座開催数、参加者数ともに目標を達成している。		
	(課題・問題点) タイトルの「男の・・・」と付けていることで女性が参加しづらい様にも捉えられるので、男女ともに受けやすいタイトルにされたい。		
	<b>重点評価事業</b>		
	<b>【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点</b>		
	<b>項目評価基準</b>	<b>評価</b>	<b>【項目評価基準】</b>
	(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	<b>4</b>	4…十分達成している 【90%以上】
	(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか	<b>3</b>	3…概ね達成されている 【70%以上】
	(c) 課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	<b>3</b>	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d) 適切な数値目標が提示されているか	<b>3</b>	1…不十分である 【50%未満】	
<b>総合評価とその判定理由</b>			
<input checked="" type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)	
開催回数は目標数値に達している。			
<b>改善策等の提言</b>			
参加人数が増えるように工夫されたい。 男性の家事能力を高める企画を考えてほしい。パートナーと助け合えるように、一人暮らしでも生活できるように。			

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	21	基本目標	Ⅲ さまざまな分野における男女共同参画
事業名	乳幼児相談・健診事業の充実	主要課題	Ⅲ-3 家庭における男女共同参画
課係名	健康管理課	施策の方向	(1)家庭生活における男女共同参画の促進

A C T (改善)	R3年度末における次年度における取り組み(予定) ※R3年度報告書より再掲
	引き続き、感染症対策を行いながら、未受診者には電話や訪問等で受診勧奨し、受診率向上に努める。また、健診時に父親の来所も増えているため、夫婦で協力して育児ができるように働きかけ、必要に応じて関係機関の相談に繋げる。

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画
	乳幼児期の親子が健全に成長発達でき、楽しく育児ができるよう、健康相談、健康診査を通じて男女が共に家庭における役割を担えるよう啓発します。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標
	・6か月乳児相談受診率 95% ・1歳6か月児健康診査受診率 98% ・3歳児健康診査受診率 97%
	R4年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入
	①相談・未受診者に対して、電話・家庭訪問等で再勧奨し、受診率の向上を目指す。 ②育児についての不安や悩みをしっかりと聞くことにより育児不安の軽減を図り、家族やパートナーとの関係で悩んでいる方は関係機関の相談に繋げる

D O (実施)	R4年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 有 ・ 無 )				
	内容	回数	参加者数(男女別)		
	①受診率:6か月乳児相談86.5% 1歳6か月児健康診査98.1% 3歳児健康診査95.4% 受診勧奨・精密検査連絡票発行者数:6か月乳児相談0件 1歳6か月児健康診査7件 3歳児健康診査36件(令和5年3月24日現在)。 ②発達遅れのある児に対しては、健診時の心理相談等につなげ、子どもの特性に合わせた関わりができるように支援した。 ③育児不安等については、電話や訪問の他、関係機関の相談事業につなげ、不安の軽減に努めた。(新型コロナウイルス感染症対策) 感染症対策の一環として、1回の健診等の案内人数を制限しているため、3歳児健診は例年より1回多く実施しているが、本来の対象月齢より1か月ほど遅れて案内している。6か月乳児相談では、未受診者に訪問等により個別対応(うち窓口来所48件、訪問5件)し、それを含めると受診率98.6%となっている。				
	R4年度の数値成果	R3(参考)	R5(参考)	R6(参考)	R7(参考)
	・6か月乳児相談受診率 86.5% ・1歳6か月児健康診査受診率 98.1% ・3歳児健康診査受診率 95.4%	・87.8% ・96.4% ・97.4%			
	R4予算額(千円)	R4決算見込額		R5予算額	
5793	5,580		5,605		

C H E C K (評価)	【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点
	<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) <input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) <input type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 乳児相談及び幼児健診では、感染症対策の一環として1回の健診等に案内する人数を制限していることに加えて、風邪症状などの体調不良がある場合には受診を控えていただいていることから、受診率は例年より低下している。だが、未受診者には電話や訪問等で発育発達状況を把握し、保護者の不安についても確認して、必要な支援につなげることができた。 (課題・問題点) 感染症対策の一環として1回の健診等に案内する人数を制限していることに加え、風邪等の体調不良時に受診を控えていただいていることから、受診率が低下している。

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	集団健診においては、引き続き感染症対策を行いながら、未受診者には電話や訪問等で受診勧奨し、受診率向上に努める。問診票の見直しをすることで、より具体的に支援ができるように取り組んでいく。

CHECK (評価)	<b>【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等</b>		
	<input checked="" type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 数値目標はほぼ達成している。		
	(課題・問題点) 未受診者の架電、訪問等により受診勧奨に努められたい。		
	<b>重点評価事業</b>		
	<b>【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点</b>		
	<b>項目評価基準</b>	<b>評価</b>	<b>【項目評価基準】</b>
	(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	4	4…十分達成している 【90%以上】
	(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか	4	3…概ね達成されている 【70%以上】
	(c) 課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	4	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d) 適切な数値目標が提示されているか	4	1…不十分である 【50%未満】	
<b>総合評価とその判定理由</b>			
<input checked="" type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)	
感染症対策をしながらほぼ目標を達成している。			
<b>改善策等の提言</b>			
父親がどの程度参加しているのかははっきりしていないが、夫婦で協力して育児ができるよう働きかけて欲しい。未受診者への対応を引き続き工夫して、必要な支援が行き届くように努められたい。			

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	22	基本目標	Ⅲ ささまざまな分野における男女共同参画
事業名	子育て支援に関する情報提供	主要課題	Ⅲ-3 家庭における男女共同参画
課係名	子育て支援課	施策の方向	(2) 子育て支援の充実

A C T (改善)	R3年度末における次年度における取り組み(予定) ※R3年度報告書より再掲
	「もばらで子育てガイドブック2022」の発行、配布 相談業務及び訪問支援業の実施

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画
	男女が協力して子育てできるように子育てガイドブックの配布、ブックスタートの充実、市公式ウェブサイトの活用による子育て支援に関する情報提供に努めます。また、育児や養育に関する不安や、仕事と子育ての両立における問題を解消できるよう、赤ちゃん訪問や家庭児童相談員による家庭訪問等で対応していきます。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標
	「もばらで子育てガイドブック」の配布数 年2,500部以上
	R4年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入
	①もばらで子育てガイドブックの配布と作成を行う。 ②市公式ウェブサイトを活用し、情報提供に努める。

D O (実施)	R4年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 有 ・ 無 )					
	内容		回数	参加者数(男女別)		
	・「もばらで子育てガイドブック2022」を発行し、子育て支援課や関係部署の窓口で配布。また、市公式ウェブサイトとスマートフォンアプリ「マチイロ」で配信を行った。 ・「もばらで子育てガイドブック2023」発行に向けて掲載内容の見直し作業を進めた。 ・子育て相談や養育支援訪問等を行い、保育士等から適切に情報提供を行った。		・配付冊数 2,500部 ・子育て相談 22回 ・養育支援訪問 72回	・子育て相談85人(男74人、女11人) ・養育支援16人(全員女性)		
	R4年度の数値成果		R3(参考)	R5(参考)	R6(参考)	R7(参考)
	「もばらで子育てガイドブック」の配布数 2,500部		2,500部			
	R4予算額(千円)		R4決算見込額		R5予算額	
0		0		0		

C H E C K (評価)	【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点
	<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) <input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) <input type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 当初の計画通りガイドブックの発行及び配付、各種相談等を実施することができた。 (課題・問題点) 子育て相談への新規相談希望者と継続希望者との相談実施の調整。

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	「もばらで子育てガイドブック2023」の発行、配布 相談業務及び訪問支援業の実施

CHECK (評価)	【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等		
	<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 目標値を達成している。(ガイドブックの配布)		
	(課題・問題点) 更なる相談業務の発信に努められたい		
	<b>重点評価事業</b>		
	【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	項目評価基準	評価	【項目評価基準】
	(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している 【90%以上】
	(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【70%以上】
	(c) 課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d) 適切な数値目標が提示されているか	3	1…不十分である 【50%未満】	
総合評価とその判定理由			
<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)	
目標は達成している。			
改善策等の提言			
子育て相談・養育支援訪問が今の実績で十分なのか、まだまだ市民の要望に応えていないのか不明である。適正か検証されたい。			



茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	23	基本目標	Ⅲ さまざまな分野における男女共同参画
事業名	子育てに関する相談業務の充実	主要課題	Ⅲ-3 家庭における男女共同参画
課係名	子育て支援課	施策の方向	(2) 子育て支援の充実

A C T (改善)	R3年度末における次年度における取り組み(予定) ※R3年度報告書より再掲
	今後も関係機関との連携や情報共有を密にし、児童虐待への対応並びに相談業務の充実を図る。

P L A N (計画)	<b>第4次計画に定められた具体的取り組み計画</b>
	夫婦で子育ての不安や孤立感を解消できるよう、広報もばらや市公式ウェブサイトを活用して相談業務の周知を図るとともに、子育て支援課(子育て家庭相談室)及び保育所・幼稚園・保健センターなどの身近な施設において、育児・子育てに関する相談に対応します。また、児童虐待などの専門的な内容や困難事例については、要保護児童対策地域協議会を構成する関係機関と連携を図りながら対応します。
	<b>第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標</b>
	個別支援会議 年50回以上
	<b>R4年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入</b>
	①要保護児童対策地域協議会での実務者会議(年6回開催)や個別支援会議(随時)を実施し、関係機関との情報共有や支援方法を検討し、適正な支援の実施に努める。 ②電話や面談、家庭訪問による相談支援を実施し、相談者の子育てに関する不安解消に努める。

D O (実施)	<b>R4年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 有 ・ 無 )</b>				
	内容		回数	参加者数(男女別)	
	①代表者会議		①1回	①20人(男16人、女4人)	
	②実務者会議		②6回	②128人(男56人、女72人)	
	③個別支援会議		③37回	③341人(男120人、女221人)	
	R4年度の数値成果		R3(参考)	R5(参考)	R6(参考)
個別支援会議 37回		43回			
R4予算額(千円)		R4決算見込額		R5予算額	
0		0		0	

C H E C K (評価)	<b>【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点</b>
	<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) <input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) <input type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 代表者会議や実務者会議を実施し、必要に応じ個別支援会議を開催し、関係機関と情報共有を行い、対応方法や役割分担を協議し、相談業務の充実に努めた。 (課題・問題点) 実務者会議での支援対象児童数の増加に伴い、事例検討に長時間を要すること。

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	今後も関係機関との連携や情報共有を密にし、児童虐待への対応並びに相談業務の充実を図る。

CHECK (評価)	<b>【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等</b>		
	<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠)個別支援会議の目標数値を下回っている。		
	(課題・問題点)実務者会議、個別支援会議においては女性の参加者が多いが、代表者会議となると男性の参加者が多数を占めてしまっている。		
	<b>重点評価事業</b>		
	<b>【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点</b>		
	<b>項目評価基準</b>	<b>評価</b>	<b>【項目評価基準】</b>
	(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	<b>3</b>	4…十分達成している 【90%以上】
	(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	<b>3</b>	3…概ね達成されている 【70%以上】
	(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	<b>3</b>	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか	<b>3</b>	1…不十分である 【50%未満】	
<b>総合評価とその判定理由</b>			
<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)	
個別支援会議は数値目標を下回っているが、代表者会議・実務者会議も適宜実施されていることから、ある程度の実績は上げていると評価できる。			
<b>改善策等の提言</b>			
支援対象児童数は増加しているので、対応できる体制強化をされたい。支援員増加やスキルアップのための専門機関への研修なども視野に入れてはどうか。 代表者会議は女性の参加人数が低い。代表者枠を検討し女性の代表を増やしてはどうか。			

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	24	基本目標	Ⅲ さまざまな分野における男女共同参画
事業名	移動式赤ちゃん休憩室の貸出	主要課題	Ⅲ-3 家庭における男女共同参画
課係名	生活課	施策の方向	(2)子育て支援の充実

A C T (改善)	R3年度末における次年度における取り組み(予定) ※R3年度報告書より再掲
	赤ちゃんを連れた子育て世代が屋外におけるイベント等へ安心して外出できるよう支援するため、主催者に成り得る団体等や市民に対して移動式赤ちゃん休憩室の周知を引き続き継続し、積極的な活用を促す。

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画
	子育て世代が屋外におけるイベント等へ赤ちゃん連れで安心して外出することができるよう、イベント主催者等に対して、移動式赤ちゃん休憩室を無償で貸し出します。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標
	移動式赤ちゃん休憩室の貸出件数 年4回以上
	R4年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入
	①各種団体等へ市公式ウェブサイト等で周知・啓発 ②自治会長ハンドブックに掲載し、周知・啓発

D O (実施)	R4年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 有 ・ 無 )					
	内容		回数	参加者数(男女別)		
	①市民活動交流会において団体へ周知		1回	/		
	②市公式ウェブサイトにて周知		1回			
	③自治会長ハンドブックに掲載(令和4年6月)		1回			
	R4年度の数値成果			R3(参考)	R5(参考)	R6(参考)
移動式赤ちゃん休憩室の貸出件数 4回			3回			
R4予算額(千円)		R4決算見込額		R5予算額		
0		0		0		

C H E C K (評価)	【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 貸出し件数は、昨年と比較し1件増加。また、新型コロナウイルス感染症が収束しつつあり、今後イベントが従来のように開催されることが見込まれるため、対応できるよう整備している。 (課題・問題点) 移動式赤ちゃん休憩室の貸し出しについて、引き続き広く周知が必要である。		

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	赤ちゃん連れの子育て世代が屋外におけるイベント等へ安心して外出できるよう支援するため、主催者に成り得る団体等や市民に対して移動式赤ちゃん休憩室の周知を引き続き継続し、積極的な活用を促す。

**【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等**

- A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)
  B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)
  C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)

(評価の根拠) 数値目標は達成しているが、周知方法と周知回数が少ない。市のSNSを活用するなど周知媒体を広げると良いのではないかと。  
 (課題・問題点) 屋外イベントに限らず、屋内で開催されるイベントでも貸し出せるように周知してもよろしいのではないかと。

**重点評価事業**

**【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点**

CHECK (評価)

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している 【90%以上】
(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c) 課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d) 適切な数値目標が提示されているか	3	1…不十分である 【50%未満】

**総合評価とその判定理由**

- A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)
  B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)
  C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)

推進委員会に同じ。

**改善策等の提言**

イベント等開催の情報を把握して、貸し出しがあることを発信する。  
 屋内でも場所が確保できないところには貸出することも必要。  
 周知により利用者が多数になった場合の対処も考慮しておくべき。イベントも増えてきている。

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	25	基本目標	Ⅲ ささまざまな分野における男女共同参画
事業名	多様な働き方を支援するための保育サービスの拡充	主要課題	Ⅲ-3 家庭における男女共同参画
課係名	子育て支援課	施策の方向	(2) 子育て支援の充実

A C T (改善)	R3年度末における次年度における取り組み(予定) ※R3年度報告書より再掲
	延長保育の時間延長については、他の保育所も実施可能か検討する。 一時預かりについては、令和4年度より朝日の森保育所に加えて鶴枝保育所(一般型)でも実施する。 病児・病後児保育については、茂原市内での実施のため、引き続き検討を行う。

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画
	子育てと仕事が両立できるように延長保育事業、一時預かり事業、病児・病後児保育事業、ファミリーサポートセンター事業の充実に努めます。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標
	・延長保育の実施時間を延長する保育施設 現計画中に2カ所 ・一時預かりを実施する保育施設 現計画中に3カ所 ・病児・病後児保育を実施する保育施設 現計画中に1カ所
	R4年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入
	延長保育事業、一時預かり事業、病児・病後児保育事業及びファミリーサポートセンター事業を引き続き適正に実施する。 またR4年度より開始した鶴枝保育所一時預かり事業のPRに努める。

D O (実施)	R4年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 有 ・ 無 )					
	内容		回数	参加者数(男女別)		
	・延長保育の実施時間延長については、引き続き豊田保育所にて実施した。 ・一時預かりについては、朝日の森保育所(余裕活用型)に加え、R4年度から鶴枝保育所(一般型)にて実施した。 ・病児・病後児保育については、引き続き白子町の酒井医院との委託により実施した。					
	R4年度の数値成果		R3(参考)	R5(参考)	R6(参考)	R7(参考)
	・延長保育の実施時間を延長する保育施設 1カ所 ・一時預かりを実施する保育施設 2カ所 ・病児・病後児保育を実施する保育施設 1カ所		・1カ所 ・1カ所 ・1カ所			
	R4予算額(千円)		R4決算見込額		R5予算額	
7,877		3,710		2,597		

C H E C K (評価)	【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点
	<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) <input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) <input type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠)病児・病後児保育事業について、白子町の酒井医院に委託により実施することで、茂原市民の利用料が値下げされ、利便性が高まった。また、延長保育、一時預かり保育についても、一定程度保護者のニーズに応えることができた。  (課題・問題点)茂原市内での病児・病後児保育の実施。

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	延長保育の時間延長については、他の保育所も実施可能か検討する。 一時預かりについては、引き続き保育環境を整え実施していく。 病児・病後児保育については、令和5年4月から開設時間が短くなることから、茂原市内での実施や長生郡市内での広域的な実施のため、引き続き検討を行う。

CHECK (評価)	【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等		
	<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 延長保育と一時預かり保育については、一定程度の保護者のニーズには応えられている。		
	(課題・問題点) 病児・病後児保育について、外部委託することにより、市外の施設となってしまう、利便性は低いのではないか。さらに、R5年から開設時間が短くなることから、市内での病児・病後児保育を検討する必要がある。		
	<b>重点評価事業</b>		
	【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	<b>項目評価基準</b>	<b>評価</b>	<b>【項目評価基準】</b>
	(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	<b>3</b>	4…十分達成している 【90%以上】
	(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか	<b>3</b>	3…概ね達成されている 【70%以上】
	(c) 課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	<b>3</b>	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d) 適切な数値目標が提示されているか	<b>3</b>	1…不十分である 【50%未満】	
<b>総合評価とその判定理由</b>			
<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)	
概ね目標値は達成されている。			
<b>改善策等の提言</b>			
数津目標に届いていないのに保護者のニーズに応えられたということは、希望する保護者が少ないためか希望園で延長保育の実施がないためと思われる。延長保育と一時預かり保育を実施する施設を増やすことを早急に。病児病後児保育を市内で実施できるように早急に努力して欲しい。とりあえず一つの保育所でもいいので、看護師か養護教諭の配置を望む。受け入れ態勢を作るべき。			

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	26	基本目標	Ⅲ ささまざまな分野における男女共同参画
事業名	放課後等の子どもの居場所づくり	主要課題	Ⅲ-3 家庭における男女共同参画
課係名	子育て支援課	施策の方向	(2) 子育て支援の充実

A C T (改善)	R3年度末における次年度における取り組み(予定) ※R3年度報告書より再掲
	東部小学校区への学童クラブ専用保育室の新設および待機児童の見込まれる小学校区における、小学校の施設活用や建物の整備などによる待機児童の解消に向けた検討を行う。

P L A N (計画)	<b>第4次計画に定められた具体的取り組み計画</b>
	学童クラブでは、保護者が就労等により昼間家庭にいない児童に、授業の終了後等に公共施設等を利用して適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図ります。また、国の「放課後子どもプラン」において学校施設の徹底的な利活用が定められていることから、教育部門と連携し、小学校の余裕教室等を利用した保育環境の向上を図ります。
	<b>第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標</b>
	・学童保育の開設場所 現計画中に20カ所 ・学童保育の児童数 年650人
	<b>R4年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入</b>
	①公設学童クラブの通年及び長期休業時の利用申込・運営管理 ②民設学童クラブの運営支援(クラブ及び利用者に対する補助、新型コロナウイルス感染症対策) ③東部小学校区学童クラブの新設工事

D O (実施)	<b>R4年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 有 ・ 無 )</b>					
	内容		回数	参加者数(男女別)		
	①補助金を活用し公設学童クラブに新型コロナウイルス感染症拡大防止のための消耗品・備品の購入を行うとともに、民設学童クラブ事業者には新型コロナウイルス感染症防止対策に要する経費の補助を実施した。 また、感染症対策のため、自動水栓へ切替等、施設の修繕を行った。 ②公設学童クラブと民設学童クラブにおける利用料等の格差是正に対する補助金を交付した。 ③待機児童解消のため、東部小学校区に建物を整備した。					
	<b>R4年度の数値成果</b>		R3(参考)	R5(参考)	R6(参考)	R7(参考)
	・学童保育の開設場所(公設6カ所 民設12カ所) ・学童保育の児童数(558人)		・20カ所 ・578人			
	<b>R4予算額(千円)</b>		<b>R4決算見込額</b>		<b>R5予算額</b>	
144,954		154,401		150,991		

C H E C K (評価)	<b>【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点</b>
	<input checked="" type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) <input type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) <input type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 東部小学校区の新設工事や、新型コロナウイルス感染症対策の経費補助による運営者の負担軽減など計画どおりに実施することができた。 (課題・問題点) 小学校区によっては待機児童が見込まれることから、学校施設の活用などを含め、実施場所の確保による待機児童の解消が課題である。

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	萩原小学校区への学童クラブ専用保育室の新設および待機児童の見込まれる小学校区における、小学校の施設活用や建物の整備などによる待機児童の解消に向けた検討を行う。

CHECK (評価)	【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等		
	<input checked="" type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠)待機児童解消のため東部小学校区に学童クラブの新設を行った		
	(課題・問題点)引き続き学童クラブの新設や学校施設の活用をし、待機児童の解消に努められたい		
	<b>重点評価事業</b>		
	【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	<b>項目評価基準</b>	<b>評価</b>	<b>【項目評価基準】</b>
	(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	4	4…十分達成している 【90%以上】
	(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	4	3…概ね達成されている 【70%以上】
	(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	4	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか	4	1…不十分である 【50%未満】	
総合評価とその判定理由			
<input checked="" type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)	
推進委員会に同じ。			
改善策等の提言			
引き続き取り組む中で、今後は学童クラブの支援の充実を望む。			



茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	27	基本目標	Ⅲ さまざまな分野における男女共同参画
事業名	高齢者の総合相談窓口の充実	主要課題	Ⅲ-3 家庭における男女共同参画
課係名	高齢者支援課	施策の方向	(3)介護支援の充実

A C T (改善)	R3年度末における次年度における取り組み(予定) ※R3年度報告書より再掲
	引き続き委託型地域包括支援センターにおいて、適切に高齢者や家族等からの相談に応じるとともに、広報掲載等を通じて地域包括支援センターの周知を図ることとしたい。

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画
	介護を必要とする人とその家族にとって、身近な相談窓口となる地域包括支援センターを日常生活圏域ごとに設置し、保健師・社会福祉士・主任介護支援専門員が中心となり、地域で暮らす高齢者を介護・福祉・健康・医療など、さまざまな面から総合的に支えます。各地域住民へ、地域包括支援センターを広く周知し、相談窓口の充実に努めます。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標
	第4年度の実施結果(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入
	・前年度に引き続き、市内4カ所の委託型地域包括支援センターにおいて高齢者やその家族等からの総合相談に応じる。 ・複合的な課題を抱えており、支援が困難な世帯が増加しているため、委託包括の総合相談の後方支援やケース会議での情報共有を行い機能強化を図る。

D O (実施)	R4年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 有 ・ 無 )					
	内容		回数	参加者数(男女別)		
	・市内4ヶ所の委託型地域包括支援センターを広報や市で配布する冊子(エンディングノート等)に掲載する等で周知を図った。 【令和4年度延相談件数(令和4年4月1日～令和5年1月31日まで)】 茂原市みなみ地域包括支援センター 1791件 茂原市ほんのう地域包括支援センター 1873件 茂原市ちゅうおう地域包括支援センター 1821件 茂原市もばら地域包括支援センター 2356件 相談内容は介護・介護保険についてが一番多かった。また、委託包括からは高齢者とその子供が同居している世帯で、その子供が障害等を抱えているケース等、高齢者以外の同居家族の支援についての相談が増えた。そういった場合は担当課や保健所、中核地域生活支援センター等とケース会議を行う等連携した。					
	R4年度の数値成果		R3(参考)	R5(参考)	R6(参考)	R7(参考)
	R4予算額(千円)		R4決算見込額		R5予算額	
101,454		100,693		102,847		

C H E C K (評価)	【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点
	<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) <input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) <input type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠)委託型地域包括支援センターへの相談件数は昨年度より増加し、住民への周知ができてきているように感じる。複合的な課題を抱える世帯の相談については、高齢者関係だけでなく、障害や生活困窮支援の関係機関とケース会議等で連携して対応するようにした。 (課題・問題点)複合的な課題を抱える世帯の支援については、介入・関わり方が難しいケースがあるため、関係機関とより密接な連携が必要。

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	障害や生活困窮など複合的な課題を抱える世帯に対して、関係機関と密接に情報共有・連携を図りながら支援していく。

CHECK (評価)	<b>【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等</b>		
	<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 多数ある相談に対して、相談内容を分類し、課題が明確になった。		
	(課題・問題点) 障害や生活困窮など複合的な課題を抱える世帯に対して、介入や関わり方などを関係機関と密接に連携されたい。		
	<b>重点評価事業</b>		
	<b>【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点</b>		
	<b>項目評価基準</b>	<b>評価</b>	<b>【項目評価基準】</b>
	(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	<b>3</b>	4…十分達成している 【90%以上】
	(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか	<b>4</b>	3…概ね達成されている 【70%以上】
	(c) 課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	<b>3</b>	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d) 適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である 【50%未満】	
<b>総合評価とその判定理由</b>			
<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)	
住民への周知はできてきている。 相談件数が増加しており、成果は上がっていると評価できる。			
<b>改善策等の提言</b>			
地域包括支援センターへの業務内容について、地域のトータルな運営協議会(市行政、医療関係者、介護関係者、民生委員、自治会)を開催し、議論されたい。			

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	28	基本目標	Ⅲ さざまな分野における男女共同参画
事業名	認知症高齢者と家族等への支援の充実	主要課題	Ⅲ-3 家庭における男女共同参画
課係名	高齢者支援課	施策の方向	(3)介護支援の充実

A C T (改善)	R3年度末における次年度における取り組み(予定) ※R3年度報告書より再掲
	講座のオンライン開催、少人数での開催等コロナウイルス感染予防対策を取り入れ、幅広い年代の人たちが講座を受講できる機会を増やす。

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画
	認知症の方とその家族が住み慣れた地域で安心して生活できるよう支援する「認知症サポーター」の養成を図ると同時に、サポーターとしての支援活動に賛同した方を「ほっとみまもり隊」に登録し、「ほっとみまもり運動」を実施していきます。また、認知症サポーター養成講座受講者が地域で活動する「チームオレンジ」の啓発を行い、本市でチームオレンジが立ち上がるよう支援活動を実施します。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標
	R年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入
	・認知症サポーター養成講座の開催 年6回 参加者100人 ・小学生に対しての認知症サポーター養成講座の開催

D O (実施)	R年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 有 ・ 無 )					
	内容		回数	参加者数(男女別)		
	・認知症サポーター養成講座は計11回開催した。 ・3つの小学校で講座を開催した。(二宮小、西小、東郷小)その他、歯医者や薬局、保険会社等で開催した。 ・ほっとみまもり隊に対してはフォローアップ研修として、認知症講演会(講師:ポプラクリニック鈴木先生)を開催した。(参加者42人)		11回	男:118人、女:191人		
	R4年度の数値成果		R3(参考)	R5(参考)	R6(参考)	R7(参考)
	R4予算額(千円)		R4決算見込額		R5予算額	
242		220		443		

C H E C K (評価)	【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点
	<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) <input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) <input type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠)認知症サポーター養成講座を、取り組み計画で定めた回数(年6回)より多く開催できた。また、小学校でも講座を開催できた。  (課題・問題点)まだ講座を開催できていない小学校がある。また、中学校には開催できていない。ほっとみまもり隊にはフォローアップ研修のみで、具体的な活動の場が提供できていない。

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	・まだ講座を開催していない小学校や中学校に講座を開催する。 ・ほっとみまもり隊の活動の場を検討し、チームオレンジの立ち上げにつなげるようにする。

CHECK (評価)	<b>【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等</b>		
	<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠)「認知症サポーター」や「ほっとみまもり隊」の具体的な活動の場の提供が少ない。		
	(課題・問題点)小中学校での認知症サポーター養成講座の開催の意義が明確ではない。ヤングケアラーが増えるきっかけになってしまうのではないか。		
	<b>重点評価事業</b>		
	<b>【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点</b>		
	<b>項目評価基準</b>	<b>評価</b>	<b>【項目評価基準】</b>
	(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している 【90%以上】
	(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【70%以上】
	(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか	3	1…不十分である 【50%未満】	
<b>総合評価とその判定理由</b>			
<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)	
目標値を達成している。一般企業でも開催できた。 認知症サポーターやほっと見守り隊の活躍の場の提供ができていない。			
<b>改善策等の提言</b>			
ほっと見守り隊やオレンジチームが名ばかりではなく、具体的に活動できるように指導する。小学校での講座も引き続き行い、中学校での実施も望む。 <推進委員会の課題・問題点に対して> 小中学生への認知症サポーター講座開催の意義は偏見のない良い市民を育てるのが目的で、職業体験、性教育などと共に大きく明確な意義がある。ヤングケアラーが増えるきっかけになるというのは解せない。現実にいるであろう潜在的なヤングケアラーが、講座をきっかけに自分の立場を理解し、一人で抱え込まず市などの協力を得る権利(ケアされる家族の立場からは義務)を自覚できるようになり、その結果としてヤングケアラーが増えるとしたらそれはそれで良いのではないだろうか。			

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	29	基本目標	Ⅲ ささまざまな分野における男女共同参画
事業名	市民へのワーク・ライフ・バランスの推進	主要課題	Ⅲ-4 労働の場における男女共同参画
課係名	企画政策課	施策の方向	(1)ワーク・ライフ・バランスの推進

A C T (改善)	R3年度末における次年度における取り組み(予定) ※R3年度報告書より再掲
	これまではワークライフバランスという言葉の意味やその価値・目的等、基本的知識についての啓発を行ってきたが、今後は市民一人ひとりが実際にどう行動すればそれが実現できるのか、実践的知識の啓発に取り組んでいく。これに伴い、実際に市民一人ひとりがワーク・ライフ・バランスを実現できているのかどうかについて把握する方法を検討する。

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画
	関係機関と連携し、ワーク・ライフ・バランスについて、広報もばら・市公式ウェブサイトなどを活用し、市民への意識啓発を図るとともに、市民一人ひとりが人生の各段階に応じて多様な働き方の選択ができるよう情報提供を行います。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標
	R4年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入
	①国・県や関係団体の啓発リーフレットを公共施設等の市民の目につきやすい場所に設置する。 ②千葉県男女共同参画センターと協働し、講演会の開催、パンフレット作成等、意識啓発事業を実施する。

D O (実施)	R4年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 有 ・ 無 )					
	内容		回数	参加者数(男女別)		
	①国・県や関係団体が作成する啓発リーフレットを、公共施設に設置した。 ②千葉県男女共同参画地域推進員事業(東上総地域)として講演会「輝く女性～自分らしく暮らし、働く～」を開催。都会で仕事に追われていた生活を見直し、移住して自分らしい暮らし・仕事を実現した講師による、ワークライフバランスに関するお話。		①適宜(年5回以上) ②1回	②74名(男性25名、女性49名)		
	R4年度の数値成果		R3(参考)	R5(参考)	R6(参考)	R7(参考)
	R4予算額(千円)		R4決算見込額		R5予算額	
0		0		0		

C H E C K (評価)	【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点
	<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) <input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) <input type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠)講演会の開催、リーフレットの配布等により情報発信ができた。  (課題・問題点)事業番号3同様、どの程度の人目に触れているのか、それにより意識啓発が進んでいるのか、効果を測ることが難しい。また、男女共同参画のテーマは多岐に渡るため、毎年講演会のテーマを「ワーク・ライフ・バランス」に設定することは難しい。他の啓発方法も検討する必要がある。

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	引き続き情報発信を行うとともに、イベント開催時等の機会がある度にアンケートを行い、市民への周知度、理解度について調査をする。

CHECK (評価)	【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等		
	<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠)リーフレットの配布等により情報発信ができていますが、実際に市民に周知されているか不明である		
	(課題・問題点)「ワーク・ライフ・バランス」の考え方について、「家事と育児」、「家事と介護」など「ワーク」の内容の視野を広げると良いのではないかと		
	<b>重点評価事業</b>		
	【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	<b>項目評価基準</b>	<b>評価</b>	<b>【項目評価基準】</b>
	(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	<b>3</b>	4…十分達成している 【90%以上】
	(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	<b>3</b>	3…概ね達成されている 【70%以上】
	(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	<b>3</b>	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか	<b>3</b>	1…不十分である 【50%未満】	
<b>総合評価とその判定理由</b>			
<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)	
情報発信はできているが、どの程度周知されているかが不明である。			
<b>改善策等の提言</b>			
「市民への推進」を行う上での明確な目標を設定する必要があると考える。			

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	30	基本目標	Ⅲ ささまざまな分野における男女共同参画
事業名	事業所へのワーク・ライフ・バランスの推進	主要課題	Ⅲ-4 労働の場における男女共同参画
課係名	商工観光課	施策の方向	(1)ワーク・ライフ・バランスの推進

A C T (改善)	R3年度末における次年度における取り組み(予定) ※R3年度報告書より再掲
	千葉県「ワーク・ライフ・バランス取組状況調査」を活用し、効果的な情報の発信、制度の周知に努める

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画
	関係機関と連携し、ワーク・ライフ・バランスについての意識啓発に努めるとともに、広報もばら・市公式ウェブサイトなどを活用し、「県男女共同参画推進事業所表彰制度」の周知を行い、企業等の積極的な取り組みを促進します。また、各事業所において長時間労働の是正や育児・介護休業取得率向上等の両立支援の取り組みが促進するよう啓発を実施します。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標
	R4年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入

①市公式ウェブサイト等を積極的に活用するとともに、関係機関のパンフレットの配布によりワーク・ライフ・バランスに関する情報提供及び周知に努める。  
②他市町村や企業における先進的な取り組みなどを調査し、本市における促進施策を検討する。

D O (実施)	R4年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 有 ・ 無 )					
	内容		回数	参加者数(男女別)		
	千葉県働き方改革推進支援センター、茂原商工会議所、茂原市商店会連合会との共催により、「働き方改革の現在～制度を知って誰もが働きやすい職場環境へ～」と題した、働き方改革に関するセミナーを開催した。市ウェブページに「働き方改革」や「ワークライフバランス」へのリンクの掲載、パンフレットの配架やSNSによる情報発信を行った。		1回	12人(男5人、女7人)		
	R4年度の数値成果		R3(参考)	R5(参考)	R6(参考)	R7(参考)
	R4予算額(千円)	R4決算見込額	R5予算額			
0	0	0				

C H E C K (評価)	【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点
	<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) <input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) <input type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠)働き方改革に関するセミナーを初開催することができた。 (課題・問題点)セミナーの参加者数を増やし、更なる周知、情報提供に努める必要がある。

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	千葉県働き方改革推進支援センターなどの関係機関との連携を強化し、「ワークライフバランス」について効果的な情報の発信、セミナー等の開催による制度の周知に努める。

**【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等**

- A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)
  B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)
  C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)

(評価の根拠)セミナーを初開催できた。1回の開催のみで参加人数が少ない印象。

(課題・問題点)セミナーの参加人数が増えるような周知の方法を考える必要がある。他市町村や企業の取り組みをもっと調査し、それを啓発活動に活かせばよいのではないか。

**重点評価事業**

**【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点**

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	2	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	2	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	2	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である 【50%未満】

**総合評価とその判定理由**

- A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)
  B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)
  C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)

セミナーを初開催できたことは、たとえ人数が少なくとも評価できる。

**改善策等の提言**

企業向けセミナーの参加人数の増加のため広報の発想を変える必要があると考える。事業主との交流会などを開催し理解を求める。予算を計上して茂原市独自の優良事業所の表彰制度をされたい。

CHECK (評価)



茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	31	基本目標	Ⅲ ささまざまな分野における男女共同参画
事業名	市職員へのワーク・ライフ・バランスの推進	主要課題	Ⅲ-4 労働の場における男女共同参画
課係名	職員課	施策の方向	(1)ワーク・ライフ・バランスの推進

A C T (改善)	R3年度末における次年度における取り組み(予定) ※R3年度報告書より再掲
	ワーク・ライフ・バランスの実現にむけて、各種休暇の取得を促進するとともに超過勤務時間が減るよう職員への周知に努める。また、休暇の取得しやすい職場環境整備に努める。

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画
	市職員自らワーク・ライフ・バランスを実践できるよう、意識啓発を行います。また、特定事業主行動計画に基づき、各種休暇・休業制度及び育児・介護休業が男女共に偏りなく活用できるよう働き方改革の目標と併せて職業生活と家庭生活との両立を支援します。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標
	特定事業主行動計画の実施状況の公表 年1回
	R4年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入
	・職員に対し時間外勤務の適正な管理を促すとともに超過勤務者の把握に努め、健康への配慮が必要なものについて産業医・保健師等による面接を行う。 ・各種休暇・休業制度の周知及び取得推進に努め、休暇を取得しやすい職場環境整備に努める。

D O (実施)	R4年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 有 ・ 無 )				
	内容	回数	参加者数(男女別)		
	①特定事業主行動計画に基づき、女性活躍推進法に基づく女性の職業選択に資する情報及び実施状況をホームページで公表した。 ②「働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律」で事業主は従業員に対して、時間外労働の上限規制を行うことになったことにより、職員の超過勤務及び健康状態の把握のために産業医等との面談を実施し、職員及び所属長に対して適切な指導をした。 ③育児・介護休業法の改正に際し、庁内情報システムへ改正内容を掲載し、職員への周知を図った。また、男性職員の配偶者の出産に伴い、個別に育児休業の取得の有無を確認した。	年1回			
	R4年度の数値成果	R3(参考)	R5(参考)	R6(参考)	R7(参考)
	特定事業主行動計画の実施状況の公表 1回	1回			
	R4予算額(千円)	R4決算見込額		R5予算額	
0	0		0		

C H E C K (評価)	【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点
	<input checked="" type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) <input type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) <input type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 男性職員の育児休業・部分休業への関心が高まり、取得する職員が増えた。特定事業主行動計画の数値公表と併せ、性差なく仕事と子育ての両立ができるよう意識改革に努めた。 (課題・問題点) 育児・介護休業法の改正により、男性職員が育児休業を取得しやすくなったが、取得するかは本人の意向にもよるため、対象の職員全ての取得が難しい。

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	育児休業の取得について、職員の意識改革が必要である。

CHECK (評価)	<b>【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等</b>		
	<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	<p>(評価の根拠) 職員の超過勤務や健康状態をよりこまめに把握する必要がある。年休取得や育児・介護休業の取得について、職員の意識改革が必要である。</p> <p>(課題・問題点) 新人研修、中級研修、係長研修、管理職研修など各ステージごとに年休取得や育児・介護休業の取得についての研修を取り入れてはどうか。また、研修の中で男性職員が育児休業を取得する際、育児休業中に何をすればよいかなど具体例を周知してみてもどうか。(経験者による座談会の開催など)</p>		
	<b>重点評価事業</b>		
	<b>【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点</b>		
	<b>項目評価基準</b>	<b>評価</b>	<b>【項目評価基準】</b>
	(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	<b>3</b>	4…十分達成している 【90%以上】
	(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか	<b>3</b>	3…概ね達成されている 【70%以上】
	(c) 課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	<b>3</b>	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
	(d) 適切な数値目標が提示されているか	<b>3</b>	1…不十分である 【50%未満】
<b>総合評価とその判定理由</b>			
<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)	
<p>職員の中に育児休業の関心が高くなっている傾向が出ているのは、職場環境整備を進めてきた成果と考える。職員の超過勤務や健康状態の把握のため、産業医との面談を実施して職員と所属長に適切に指導している。</p>			
<b>改善策等の提言</b>			
<p>男性の育児休業制度の利用最低?日取得することを制度化する等、検討されたい。</p>			

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	32	基本目標	Ⅲ さまざまな分野における男女共同参画
事業名	男女雇用機会均等や育児・介護休業に係る法制度の周知とポジティブ・アクション(積極的改善措置)の促進	主要課題	Ⅲ-4 労働の場における男女共同参画
課係名	商工観光課	施策の方向	(2)雇用機会の均等と職場環境の整備・改善

A C T (改善)	R3年度末における次年度における取り組み(予定) ※R3年度報告書より再掲
	国・県等の施策に関する情報を、市公式ウェブサイト上でさらに充実させるとともに、「次世代育成支援対策推進法」及び「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」の周知に努め、一般事業主行動計画の策定を促進する。

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画
	男女共に仕事と育児・介護が両立できる職場環境を整備するため、男女雇用機会均等や育児・介護休業に係る法制度の周知を図ります。また、商工会議所等の関係機関と連携し、企業・団体におけるポジティブ・アクション(積極的改善措置)の実行等を通じ、積極的に女性を指導的地位へ登用するよう促します。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標
	R4年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入

D O (実施)	R4年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 有 ・ 無 )					
	内容		回数	参加者数(男女別)		
	千葉県働き方改革推進支援センター、茂原商工会議所、茂原市商店会連合会との共催により、「働き方改革の現在～制度を知って誰もが働きやすい職場環境へ～」と題した、育児・介護制度の整備等の説明を含むセミナーを開催した。関係機関による相談窓口や法制度に関するチラシ等の案内を市窓口で配布した。また、市ウェブページやSNSを活用し、情報発信に努めた。		1回	12人(男5人、女7人)		
	R4年度の数値成果		R3(参考)	R5(参考)	R6(参考)	R7(参考)
	R4予算額(千円)	R4決算見込額	R5予算額			
0	0	0				

C H E C K (評価)	【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 育児・介護制度の整備等に関するセミナーを初開催することができた。 (課題・問題点) セミナーの参加者数を増やし、更なる周知、情報提供に努める必要がある。		

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	千葉県働き方改革推進支援センターなどの関係機関との連携を強化し、男女雇用機会均等や育児・介護休業に係る法制度の周知について効果的な情報の発信、セミナー等の開催による制度の周知に努める

CHECK (評価)	<b>【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等</b>		
	<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠)セミナーを初開催できた。1回の開催のみで参加人数が少ない印象。		
	(課題・問題点)セミナーの参加人数が増えるような周知の方法を考える必要がある。他市町村や企業の取り組みをもっと調査し、それを啓発活動に活かせばよいのではないか。		
	<b>重点評価事業</b>		
	<b>【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点</b>		
	<b>項目評価基準</b>	<b>評価</b>	<b>【項目評価基準】</b>
	(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	2	4…十分達成している 【90%以上】
	(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	2	3…概ね達成されている 【70%以上】
	(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	2	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか	2	1…不十分である 【50%未満】	
<b>総合評価とその判定理由</b>			
<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)	
※事業番号30の評価を参照			
<b>改善策等の提言</b>			
※事業番号30の提言を参照			

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	33	基本目標	Ⅲ さまざまな分野における男女共同参画
事業名	就労を希望する女性の再チャレンジ支援	主要課題	Ⅲ-4 労働の場における男女共同参画
課係名	商工観光課	施策の方向	(2)雇用機会の均等と職場環境の整備・改善

A C T (改善)	R3年度末における次年度における取り組み(予定) ※R3年度報告書より再掲
	千葉県ジョブサポートセンターと連携し、ニーズに応じた再就職セミナーを継続して開催する。 マザーズハローワークや千葉県ジョブサポートセンター等の就職支援機関と支援業務の情報発信をさらに強化する。

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画
	県及び関係機関と連携し、女性の職業能力の向上のための講座や再就職を支援するための情報提供を実施します。また、広報もばら・市公式ウェブサイトを利用し、就業相談窓口の情報を提供するとともに、女性の就職・再就職等のための相談事業の支援を実施します。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標
	セミナー等の開催 年1回
D O (実施)	R4年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入
	①千葉県ジョブサポートセンターと連携し、再就職を支援するセミナーを開催する。 ②ハローワーク茂原やマザーズハローワークなどの支援機関が開催する講座や、就職・再就職支援の取組みについて、広報・市公式ウェブサイト等への掲載により情報を提供するとともに、関係機関のパンフレット等を商工観光課カウンターに設置する。

D O (実施)	R4年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 有 ・ 無 )					
	内容		回数	参加者数(男女別)		
	「千葉県ジョブサポートセンター」の講師派遣事業を活用し、全年齢対象の再就職支援セミナーを開催した。 市ウェブページの構成を施策体系に沿って整理し、「マザーズハローワーク」や「千葉県ジョブサポートセンター」などの就職支援機関及び就業相談・就職支援セミナーの情報発信を強化し、関係機関のパンフレット等を商工観光課カウンターに設置した。		1回	12人(男4人、女8人)		
	R4年度の数値成果		R3(参考)	R5(参考)	R6(参考)	R7(参考)
	セミナー等の開催 1回		1回			
	R4予算額(千円)		R4決算見込額		R5予算額	
0		0		0		

C H E C K (評価)	【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点
	<input checked="" type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) <input type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) <input type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
(評価の根拠) 性別年齢による区分けにない再就職セミナーの開催を開催し、8名の女性の参加があった。	
(課題・問題点) 再就職支援については、ハローワークと更なる連携を図る必要がある。	

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	千葉県ジョブサポートセンター事業を活用し、再就職支援セミナーを継続して開催する。 開催にあたり、ハローワーク等の関係機関と更なる連携を図る。

CHECK (評価)	<b>【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等</b>		
	<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	<p>(評価の根拠) 目標を達成している。</p> <p>(課題・問題点) 参加人数が少ないため、周知方法について更なる検討が必要。</p>		
	<b>重点評価事業</b>		
	<b>【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点</b>		
	<b>項目評価基準</b>	<b>評価</b>	<b>【項目評価基準】</b>
	(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	<b>3</b>	4…十分達成している 【90%以上】
	(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか	<b>3</b>	3…概ね達成されている 【70%以上】
	(c) 課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	<b>2</b>	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
	(d) 適切な数値目標が提示されているか	<b>2</b>	1…不十分である 【50%未満】
<b>総合評価とその判定理由</b>			
<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)	
<p>参加人数は少ないが再就職セミナーを開催できた。</p>			
<b>改善策等の提言</b>			
<p>セミナー開催について回数を増やすために予算を計上するよう検討されたい。          ジョブサポートセンターの講演派遣事業の活用のほか参加人数を増やすため、ハローワークにも協力依頼してはどうか。</p>			

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	34	基本目標	Ⅲ ささまざまな分野における男女共同参画
事業名	農業における女性グループ活動の支援と女性起業家の育成	主要課題	Ⅲ-4 労働の場における男女共同参画
課係名	農政課	施策の方向	(4) 農業・自営業等における男女共同参画の促進

A C T ( 改 善 )	R3年度末における次年度における取り組み(予定) ※R3年度報告書より再掲
	女性が農業に関心を持つ、きっかけを作る取り組みを検討する。

P L A N ( 計 画 )	第4次計画に定められた具体的取り組み計画
	女性農業者グループ「麦の会」が郷土料理や地元農産物をPRすることにより、地産地消や食事への取り組みを促進します。また、女性起業家を育成するため、女性農業者に県主催の起業講座や研修会への参加を促進するとともに、6次産業の補助金制度等の情報を提供します。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標
	女性の新規農業起業家数 年1人以上
D O ( 実 施 )	R4年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入
	女性の新規農業起業家数 1人増加

D O ( 実 施 )	R4年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 有 ・ 無 )					
	内容		回数	参加者数(男女別)		
	コロナ禍後初となる茂原ふるさと塾を開催した。		1	全参加者15名 うち女性15名		
	R4年度の数値成果					
	女性の新規農業起業家数 0人		R3(参考) 0人	R5(参考)	R6(参考)	R7(参考)
	R4予算額(千円) 0		R4決算見込額 0		R5予算額 0	

C H E C K ( 評 価 )	【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input checked="" type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 女性の農業起業家は誕生しなかったため、この評価とした。 (課題・問題点) 茂原市が認定した、認定新規就農者にR3、R4それぞれ1名ずつ女性がおり、農業を始める女性は増えつつある。 今後農業を始める女性の方を増やしていきたい今後の起業へのきっかけとしてもらいたい。		

A C T ( 改 善 )	担当課による、次年度における取り組み予定
	女性が農業に関心を持つ、きっかけを作る取り組みを検討する。

CHECK (評価)	<b>【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等</b>		
	<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input checked="" type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	<p>(評価の根拠)数値的目標が達成されていない。</p> <p>(課題・問題点)第4次計画に定められた具体的取り組み計画が実施されていないことから、積極的な実施を行う。</p>		
	<b>重点評価事業</b>		
	<b>【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点</b>		
	<b>項目評価基準</b>	<b>評価</b>	<b>【項目評価基準】</b>
	(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	2	4…十分達成している 【90%以上】
	(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	2	3…概ね達成されている 【70%以上】
	(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	1	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
	(d)適切な数値目標が提示されているか	2	1…不十分である 【50%未満】
<b>総合評価とその判定理由</b>			
<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input checked="" type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)	
<p>数値目標が低いのと低い数値目標を達成できていない。</p>			
<b>改善策等の提言</b>			
<p>6次産業の補助金制度等の情報を工夫して提供されたい。 農業を始めた女性が継続できるような支援制度についても検討されたい。</p>			



茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	35	基本目標	Ⅲ さまざまな分野における男女共同参画
事業名	農業における家族経営協定締結の促進	主要課題	Ⅲ-4 労働の場における男女共同参画
課係名	農政課	施策の方向	(4) 農業・自営業等における男女共同参画の促進

A C T (改善)	R3年度末における次年度における取り組み(予定) ※R3年度報告書より再掲
	引き続き家族協定の締結に向けて取り組みを行いつつ、本市における農業の実情に基づき、農業に関連した女性が活躍する事業に取り組んでいく。

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画
	家族農業経営について、経営方針や役割分担等、家族みんなが働きやすい就業環境を整備するため、家族間で取り決める「家族経営協定」の締結を促進します。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標
	家族経営協定の新規締結数 年1件以上
	R4年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入
	家族経営協定の新規締結数 1件増加

D O (実施)	R4年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 有 ・ 無 )					
	内容		回数	参加者数(男女別)		
	主に新規就農者に対し、家族経営協定の説明を実施した。		2	男性2名 女性1名		
	R4年度の数値成果		R3(参考)	R5(参考)	R6(参考)	R7(参考)
	家族経営協定の新規締結数 0人		0件			
	R4予算額(千円)		R4決算見込額		R5予算額	
0		0		0		

C H E C K (評価)	【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点
	<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) <input type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) <input checked="" type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 県の新規就農担当者とともに家族経営協定についての説明を実施し、協定を結ぶまでの手順やメリットについて説明した。 (課題・問題点) 農業の担い手不足が進み、農業者全体の数が低下していることに伴い、農業を夫婦や家族ぐるみでの営み、家族協定の対象となる候補者の選定が困難となっている。

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	引き続き家族協定の締結に向けて取り組みを行いつつ、本市における農業の実情に基づき、農業に関連した女性が活躍する事業に取り組んでいく。

CHECK (評価)	<b>【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等</b>		
	<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input checked="" type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	<p>(評価の根拠) 数値目標を達成していない。</p> <p>(課題・問題点) 事業の具体的な取り組みの計画を明確にする。</p>		
	<b>重点評価事業</b>		
	<b>【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点</b>		
	<b>項目評価基準</b>	<b>評価</b>	<b>【項目評価基準】</b>
	(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	2	4…十分達成している 【90%以上】
	(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか	2	3…概ね達成されている 【70%以上】
	(c) 課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	1	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
	(d) 適切な数値目標が提示されているか	2	1…不十分である 【50%未満】
<b>総合評価とその判定理由</b>			
<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input checked="" type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)	
<p>推進委員会に同じ。</p>			
<b>改善策等の提言</b>			
<p>「家族経営協定」には本来の男女共同参画の意味があると思う。全ての農業従事者共同参画と言える。いままで代々農家の人にはあまり受け入れられるとは思えない。ただ、これから就農を考えている人やビジネスとしての農業をしている人、これから農業を担っていく若い人には「家族経営協定」の理念が分かりやすいし受け入れやすいのではないかと思う。農業従事者全般に対する周知とは別にそういうところに個別に進めていくのが得策と考える。 JAとの情報交換も必要。</p>			

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	36	基本目標	IV 誰もが安心して暮らせる環境づくり
事業名	高齢者の自主活動への支援	主要課題	IV-1 安心して活動できる環境の整備
課係名	高齢者支援課	施策の方向	(1)高齢者・障害者施策の充実

A C T (改善)	R3年度末における次年度における取り組み(予定) ※R3年度報告書より再掲
	長寿クラブ連合会や長寿クラブ連合会の事務局である茂原市社会福祉協議会と連携をはかり、周知や活動支援等を行う。

P L A N (計画)	<b>第4次計画に定められた具体的取り組み計画</b>
	高齢者がいきいきと健康的に過ごすためには、フレイルを予防し、社会参加や運動の機会等を持つことが重要です。そのため、生活支援コーディネーターと連携し、地域で自主的に行われている、通いの場の把握や情報提供を行います。また、自宅から近い場所で通えるよう、男女問わず簡単に実施できる「もばら百歳体操」の実施を地区社会福祉協議会へ委託するとともに、通いの場を増やすため、「もばら百歳体操」を新たに実施する団体へ補助金を交付します。
	<b>第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標</b>
	・社会福祉協議会もばら百歳体操参加者数延 年2,500人以上 ・補助金交付団体 年2団体以上
	<b>R4年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入</b>
	・茂原市社会福祉協議会にもばら百歳体操の業務委託を行い、新型コロナウイルス感染症に留意しながら実施を依頼する。

D O (実施)	<b>R4年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 有 ・ 無 )</b>					
	内容		回数	参加者数(男女別)		
	・もばら百歳体操を広報・ウェブサイトに掲載し、周知啓発を図った。 ・生活支援コーディネーターが通いの場を訪問し状況把握と住民ニーズのマッチングを行った。					
	<b>R4年度の数値成果</b>		R3(参考)	R5(参考)	R6(参考)	R7(参考)
	・社会福祉協議会もばら百歳体操参加者数延 4,090人 R4.9月末 ・補助金交付団体 0		・2,226人 ・0団体			
	R4予算額(千円)		R4決算見込額		R5予算額	
2,108		2,108		1,907		

C H E C K (評価)	<b>【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点</b>
	<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) <input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) <input type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠)感染症予防支援を行いつつ、もばら百歳体操の普及啓発を図ることができた。 (課題・問題点)もばら百歳体操等通いの場の新規立ち上げには至らなかった。

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	茂原市社会福祉協議会と連携を図り、周知や活動支援を行う。

CHECK (評価)	<b>【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等</b>		
	<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	<p>(評価の根拠) 補助金交付団体の達成には至らなかったが、もばら百歳体操参加者数は大幅に達成している。</p> <p>(課題・問題点) 介護予防に繋げるため、更なる事業の周知を図りたい。</p>		
	<b>重点評価事業</b>		
	<b>【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点</b>		
	<b>項目評価基準</b>	<b>評価</b>	<b>【項目評価基準】</b>
	(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	<b>3</b>	4…十分達成している 【90%以上】
	(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか	<b>3</b>	3…概ね達成されている 【70%以上】
	(c) 課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	<b>3</b>	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
	(d) 適切な数値目標が提示されているか	<b>3</b>	1…不十分である 【50%未満】
<b>総合評価とその判定理由</b>			
<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)	
<p>参加者延べ人数は大幅に増えている。</p> <p>補助金交付団体に係る目標が達成できていない。目標達成に向けた取り組みが立てられていない。</p>			
<b>改善策等の提言</b>			
<p>継続していく事業であり、引き続き周知に努められたい。</p> <p>百歳体操実施団体の新規開拓は更なる拡大につながるから、そのための具体的な取組策の立案が望まれる。参加者の年齢構成や男女比などがわかれば、どういうところに今後アプローチしていくか検討できるのではないかと。</p> <p>自治会単位、長寿クラブ単位などで実施できると多くの人たちが参加の機会を得られ、交流の場にもなるので検討されたい。</p>			

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	37	基本目標	IV 誰もが安心して暮らせる環境づくり
事業名	障害者(児)の地域生活支援の充実	主要課題	IV-1 安心して活動できる環境の整備
課係名	障害福祉課	施策の方向	(1)高齢者・障害者施策の充実

A C T (改善)	R3年度末における次年度における取り組み(予定) ※R2年度報告書より再掲
	関係機関と協働し、障害福祉サービスについての周知活動を行っていく。また、障害者総合支援法及び児童福祉法に基づく各種サービスについては、質の高いサービスを引き続き維持できるよう取り組んでいく。

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画
	障害のある人もない人も共に暮らせる地域づくりという考えのもとに、障害者(児)と介護者のための障害福祉サービスや地域生活支援事業を実施することで、性別にとられない介護に対する支援の推進を図ります。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標
	R4年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※簡条書きで具体的に記入
	障害者総合支援法及び児童福祉法に基づき、居宅介護、短期入所、同行援護、児童発達支援、放課後等デイサービス、日中一時支援、移動支援等に係るサービスの支給決定を適切に実施する。

D O (実施)	R4年度の実施結果 ※簡条書きで具体的に記入 (添付書類 有 ・ 無 )					
	内容			回数	参加者数(男女別)	
	各サービスの総延利用者数 4,181人(R3実績 4,181人)			/	/	
	<内訳>					
	サービス名	延利用者数	実利用者数			
	居宅介護(R4.3～R5.2)	1,203人(1,033人)	132人(113人)			
短期入所(R4.3～R5.2)	349人(267人)	64人(49人)				
同行援護(R4.3～R5.2)	154人(131人)	16人(13人)				
児童発達支援(R4.3～R5.2)	746人(632人)	107人(80人)				
放課後等デイサービス(R4.3～R5.2)	1,900人(1,537人)	195人(162人)				
日中一時支援(R4.4～R5.3)	362人(439人)	45人(49人)				
移動支援(R4.4～R5.3)	112人(142人)	17人(17人)				
R4年度の数値成果			R3(参考)	R5(参考)	R6(参考)	R7(参考)
/			/	/	/	/
R4予算額(千円)		R4決算見込額		R5予算額		
487,466		537,266		562,460		

C H E C K (評価)	【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点
	<input checked="" type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) <input type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) <input type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 個々のケースに応じて障害福祉サービス及び地域生活支援事業により適正な支援を実施することで支援体制を整え、社会で支えていくための介護の推進を図ることができた。障害福祉サービスが適切に提供されたことにより、障害児・者の介護を社会全体で支える体制が整備され、介護は女性の役割という社会通念を是正し、社会で支える介護の推進の一端を担うことができた。 (課題・問題点) 障害福祉サービス等の周知を活動を引き続き行う必要がある。

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	関係機関と協働し、障害福祉サービスについての周知活動を行っていく。また、障害者総合支援法及び児童福祉法に基づく各種サービスについては、質の高いサービスを引き続き維持できるよう取り組んでいく。

CHECK (評価)	【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等		
	<input checked="" type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠)各サービスの利用者が増えたことにより、介護を社会全体で支える体制が整備されている。		
	(課題・問題点)引き続きサービスの周知を図りたい。		
	<b>重点評価事業</b>		
	【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	項目評価基準	評価	【項目評価基準】
	(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している 【90%以上】
	(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【70%以上】
	(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか	/	1…不十分である 【50%未満】	
総合評価とその判定理由			
<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)	
各サービスの利用者数は増えている。 サービスを必要とする障害者数の把握とサービスの提供が足りているかを把握しているかが分からない。			
改善策等の提言			
サービスを必要としている人が実際に利用できているか、障害者と介護者が利用できるサービスをどれだけ認識できているか、周知方法を検討して欲しい。 介護は女性の役割という社会通念が本当に是正されているのか、実利用者数だけでは分からない。			

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	38	基本目標	IV 誰もが安心して暮らせる環境づくり
事業名	障害者(児)の相談事業の充実及び社会復帰の促進	主要課題	IV-1 安心して活動できる環境の整備
課係名	障害福祉課	施策の方向	(1)高齢者・障害者施策の充実

A C T (改善)	R3年度末における次年度における取り組み(予定) ※R2年度報告書より再掲
	令和3年度と同様に取り組む。

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画
	障害福祉サービスの利用に必要な情報の提供、助言、支援を行うとともに、地域生活支援センター等の関係機関と連携することで、相談支援体制の充実を図り、障害の有無や性別にとらわれない、社会復帰に向けた支援の促進を図ります。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標
	R4年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入
	①障害者(児)の各種福祉サービス提供や日常生活の相談等を行う。 ②長生地域生活支援センター、生活支援センターつくも、障害者相談員、保健師等により、身体・知的・精神・児童、全ての障害に対応した電話、窓口相談、家庭訪問等の支援を実施する。

D O (実施)	R4年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 有 ・ 無 )				
	内容		回数	参加者数(男女別)	
	令和4年4月から令和5年3月までの延相談件数 7,444件 (R3実績6,119件)				
	【内訳】				
	長生地域生活支援センター	5,804件(R3実績 4,600件)			
	生活支援センターつくも	288件(R3実績 316件)			
障害者相談員	334件(R3実績 220件)				
障害福祉課職員(保健師、社会福祉士等)	1,018件(R3実績 983件)				
	R4年度の数値成果	R3(参考)	R5(参考)	R6(参考)	R7(参考)
	R4予算額(千円)	R4決算見込額		R5予算額	
	14,093	14,092		14,196	

C H E C K (評価)	【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点
	<input checked="" type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) <input type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) <input type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 全ての障害に対する相談支援体制の充実を図るとともに、障害者(児)の家族等が抱えている悩みや問題を相談支援事業により整理することで、障害福祉サービス等の利用に繋げ、社会全体で支える介護の促進を図ることができた。 (課題・問題点) 引き続き相談支援体制の充実をはかる必要がある。

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	引き続き、各種福祉サービス提供や日常生活の相談等を適切に行う。

**【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等**

- A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)
  B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)
  C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)

(評価の根拠) 相談件数が増えていることから相談件数支援体制が充実しているとうかがわれる。

(課題・問題点) 引き続き相談しやすい体制づくりに努める。

**重点評価事業**

**【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点**

C  
H  
E  
C  
K  
(  
評  
価  
)

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	4	4…十分達成している 【90%以上】
(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか	4	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c) 課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d) 適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である 【50%未満】

**総合評価とその判定理由**

- A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)
  B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)
  C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)

相談件数が増加している。

**改善策等の提言**

社会復帰に向けての支援や施策をもっと検討されたい。  
 数的な実績を伸ばすことに加えて、内容の充実も図るよう留意されたい。



茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	39	基本目標	IV 誰もが安心して暮らせる環境づくり
事業名	精神保健相談の実施及び社会復帰の支援	主要課題	IV-1 安心して活動できる環境の整備
課係名	健康管理課	施策の方向	(1)高齢者・障害者施策の充実

A C T (改善)	R3年度末における次年度における取り組み(予定) ※R3年度報告書より再掲
	性差やライフステージに応じた健康問題、経済・生活問題、家庭問題等に対し、心身ともに健康で安定した社会生活が送れるよう関係機関と連携しながら総合的に支援する。また思春期教室でのリーフレット配布によるSOSの出し方教育を行い、若年層への自殺対策の取り組みを強化していく。

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画
	精神保健福祉士等による「こころの健康相談」や、保健師による「健康相談」、各種健(検)診を通じて、さまざまな悩みや精神疾患を持つ方をはじめとした自殺予防等のための相談を充実させるとともに、精神科病院・保健所等の各相談専門機関や専門家等との連携を図り、こころの健康づくりの支援に努めます。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標
	こころの健康相談 年12回 48人以上
	R4年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入
	①こころの健康相談を年12回実施し、相談者が抱える悩みに対応し必要な機関へつなぐ。 ②ゲートキーパー養成講座を実施し、自殺の危険を示すサインに気づき適切な対応ができる人を増やす。 ③こころの健康に関するリーフレットを、様々な対象者に幅広く配布することにより、ストレスへの対処方法や相談先を周知する。

D O (実施)	R4年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 有 ・ 無 )				
	内容		回数	参加者数(男女別)	
	①職員向けゲートキーパー養成講座		①1	①男11女13	
	②ゲートキーパーに関する出前講座		②1	②女12	
	③こころの健康相談		③11	③男5 女25	
	④乳幼児家庭訪問事業にて、産後うつに関するチラシ配布と保健指導		④352	④女352	
⑤職員健診におけるメンタルヘルスに関するチラシ配布及び思春期教室でのチラシ配布		⑤681	⑤男女比不明		
R4年度の数値成果		R3(参考)	R5(参考)	R6(参考)	R7(参考)
こころの健康相談 11回30人		11回31人			
R4予算額(千円)		R4決算見込額		R5予算額	
419		383		915	

C H E C K (評価)	【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点
	<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) <input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) <input type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠)性差やライフステージに応じた保健事業により、対象者を支援することが出来た。 (課題・問題点)新型コロナの影響下で、全国的に女性や若者の自殺者数が増加している現状がある。今後も引き続き、関係機関と連携し総合的に自殺対策を実施していくことが必要である。

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	性差やライフステージに応じた健康問題、経済・生活問題、家庭問題等に対し、心身ともに健康で安定した社会生活が送れるよう関係機関と連携しながら総合的に支援する。また女性や若者への支援を強化しながら自殺対策における取り組みを強化していく。

CHECK (評価)	【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等		
	<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) コロナ禍においても各種講座を開催し心の健康づくりに努めた。		
	(課題・問題点) 男女問わず相談しやすい体制づくりに努める。		
	<b>重点評価事業</b>		
	【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	項目評価基準	評価	【項目評価基準】
	(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している 【90%以上】
	(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【70%以上】
	(c) 課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d) 適切な数値目標が提示されているか	3	1…不十分である 【50%未満】	
総合評価とその判定理由			
<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)	
コロナ禍においても保健事業を進めることができた。			
改善策等の提言			
コロナ禍においても保健事業を進めることができた。			

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	40	基本目標	IV 誰もが安心して暮らせる環境づくり
事業名	男女共同参画の視点を取り入れた防災対策の充実	主要課題	IV-1 安心して活動できる環境の整備
課係名	防災対策課	施策の方向	(2)防災・防犯における男女共同参画の促進

A C T (改善)	R3年度末における次年度における取り組み(予定) ※R3年度報告書より再掲
	住民参加型の地域防災訓練を実施し、地域防災力の向上に努める。また、女性や要配慮者に対応した備蓄品の購入を行う。あわせて、避難所運営においても女性の直近動員職員を配置する等、体制づくりの構築を行う。

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画
	地域防災力の向上を目的に、男女のニーズの違いを考慮し、地域防災訓練の実施や避難所運営に関して、女性や要配慮者に配慮した取り組みを進めます。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標
	R4年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入
	①地域防災訓練において男女両方が参画する避難所運営について啓発を行う ②備蓄品の更新・拡充において、男女のニーズの違いに配慮し、必要な物品を考慮する。

D O (実施)	R4年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> )				
	内容	回数	参加者数(男女別)		
	①地域防災訓練の実施(茂原地区:茂原小、東部小、茂原高校 計3か所) ②母子での避難を想定し、避難所に液体ミルクやアレルギー対応ミルクを配備した。また、生理用品やおむつの更新を行った。	1回	65名(男58名 女7名)		
	R4年度の数値成果	R3(参考)	R5(参考)	R6(参考)	R7(参考)
	R4予算額(千円)	R4決算見込額	R5予算額		
4,555	3,629	3,914			

C H E C K (評価)	【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点
	<input checked="" type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) <input type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) <input type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠)12月に地域防災訓練を実施(茂原地区)し、避難所運営訓練において、男女問わず資機材の組み立て等、協力して実施していた。また、避難所における備蓄品についても、女性の意見を取り入れ、液体ミルクや生理用品の更新を実施した。  (課題・問題点)引き続き、女性等の意見を聞きながら、女性や要配慮者に配慮した避難所づくりを図っていく。

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	住民参加型の地域防災訓練を実施し、地域防災力の向上に努める。また、女性や要配慮者に対応した備蓄品の購入を行う。あわせて、避難所運営においても女性の直近動員職員を配置する等、体制づくりの構築を行う。

CHECK (評価)	【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等		
	<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	<p>(評価の根拠) 避難所の備蓄品の充実が図られたが、地域防災訓練における女性の参加者比率が少ない。</p> <p>(課題・問題点) 母子でも避難を想定した防災訓練の在り方を検討し、女性の参加を促す。</p>		
	<b>重点評価事業</b>		
	【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	項目評価基準	評価	【項目評価基準】
	(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している 【90%以上】
	(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【70%以上】
	(c) 課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
	(d) 適切な数値目標が提示されているか	/	1…不十分である 【50%未満】
総合評価とその判定理由			
<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)	
<p>地域防災訓練における女性の参加者が少ない。 訓練地域が昨年と同じように一か所だけにとどまっている。</p>			
改善策等の提言			
<p>地域防災を担う高齢者、女性、小中高生の育成を計画されたい。ひとり一人が自分を守ることを学び日々話し合うことが大事と考える。女性・学生の意識を高める工夫を望む。 地域防災訓練の実施は、各地域、年一回は必要ではないか。場所をもっと増やして災害に備えて欲しい。 避難所運営においても女性の直近動員職員を配置する等、体制づくりの構築を行うと昨年度より改善策が示されているが、具体的な取り組みを求める。</p>			

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	41	基本目標	IV 誰もが安心して暮らせる環境づくり
事業名	自主防災組織の育成	主要課題	IV-1 安心して活動できる環境の整備
課係名	防災対策課	施策の方向	(2)防災・防犯における男女共同参画の促進

A C T (改善)	R3年度末における次年度における取り組み(予定) ※R3年度報告書より再掲
	新規自主防災組織の設立を促進するため、相談を随時受け付けるとともに、出前講座を実施する。

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画
	平常時及び災害発生時に住民自らが被害を防止・軽減するために、地域全体の安全を守る活動を行う自主防災組織について、既存の自治会単位での設立を推進する中で、男性だけでなく女性の参画も促し、活動の活性化を図ります。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標
	自主防災組織の新規設立 年5団体以上
	R4年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入
	①災害対策コーディネーター養成講座を開催し、女性の参加を促す。 ②既存の自主防災組織に対する資機材補助にあたり、女性の意見を取り入れるように促す。 ③出前講座時に自主防災組織の運営への女性の参加を促す。

D O (実施)	R4年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 有 ・ 無 )					
	内容		回数	参加者数(男女別)		
	①災害対策コーディネーター養成講座の実施		1回 (3日間)	41名(男:35名 女:6名)		
	③出前講座の実施 災害対策コーディネーター茂原女性部会の設立及び活動の支援		10団体 3回			
	R4年度の数値成果		R3(参考)	R5(参考)	R6(参考)	R7(参考)
	自主防災組織の新規設立 2団体		2団体			
	R4予算額(千円)		R4決算見込額		R5予算額	
2,935		1,877		2,774		

C H E C K (評価)	【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点
	<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) <input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) <input type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) コロナ禍によって自治会等の活動が停滞する中、2団体の新規自主防災組織が設立した。 出前講座において、避難所運営における女性への配慮等の講座を実施した。 (課題・問題点) コロナ禍での自主防災組織の活動 地域防災訓練における更なる女性の参加の推進

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	新規自主防災組織の設立を促進するため、相談を随時受け付けるとともに、出前講座を実施する。

CHECK (評価)	【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等		
	<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	<p>(評価の根拠) 自主防災組織の新規設立には目標は未達成だったが、災害対策コーディネーター養成講座には女性の参加者がみられた。</p> <p>(課題・問題点) 災害対策コーディネーター茂原女性部会の協力を得ながら自主防災への更なる女性参加を促す。</p>		
	<b>重点評価事業</b>		
	【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	項目評価基準	評価	【項目評価基準】
	(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している 【90%以上】
	(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【70%以上】
	(c) 課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	2	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
	(d) 適切な数値目標が提示されているか	2	1…不十分である 【50%未満】
総合評価とその判定理由			
<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)	
<p>コーディネーター講座が実施され、出前講座も増えている。女性部会の設立など努力が伺える。</p>			
改善策等の提言			
<p>引き続き、災害対策コーディネーター茂原女性部の活動の支援と強化に努められたい。 自治会単位での出前講座をもっと実施する。土・日で開催する等、家族中で参加できるように工夫する。 女性目線の災害対策が大切なことに重きを置き、防災グッズ講習会などを増やしてより意識を高めて、女性の訓練参加推進に努められたい。</p>			

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	42	基本目標	IV 誰もが安心して暮らせる環境づくり
事業名	地域防犯体制の充実	主要課題	IV-1 安心して活動できる環境の整備
課係名	生活課	施策の方向	(2)防災・防犯における男女共同参画の促進

A C T (改善)	R3年度末における次年度における取り組み(予定) ※R3年度報告書より再掲
	地域の防犯活動を男女がともに担い参加を図るために、防犯組合、自治会と連携し、また市公式ウェブサイト、広報もばら、防犯ボックスだより等を活用し、身近な防犯組織としての自主防犯団体の育成と結成の促進を図る。

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画
	住民自らが「自分たちの住む地域の安全は自分たちで守る」という強い連帯意識で実施している地域防犯活動について支援を行い、男女が共に担うことにより、地域防犯力の向上を図ります。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標
	R4年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入
	①自主防犯団体を育成し、活動の助成を行う。 ②防犯組合、自治会等と協力し、自主防犯団体の結成を促進する。 ③防犯パトロールを実施する。

D O (実施)	R4年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 有 ・ 無 )					
	内容		回数	参加者数(男女別)		
	①自主防犯団体や防犯組合と合同パトロールを実施し、必要な指導・助言をした。 ②自治会回覧を活用した「防犯ボックスだより」で、複数の自主防犯団体の活動内容を掲載するなど情報を提供をすることで、自主防犯団体の育成及び結成の促進に努めた。 ③防犯組合の運営及び活動内容の充実を図るため、補助金を支給した。 ④防犯パトロールについては、男女平等な参加を促した。		防犯パトロール回数: 99回	防犯パトロール参加者数: 558名(男 558名)		
	R4年度の数値成果		R3(参考)	R5(参考)	R6(参考)	R7(参考)
	R4予算額(千円)		R4決算見込額		R5予算額	
512		480		511		

C H E C K (評価)	【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点
	<input checked="" type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) <input type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) <input type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠)新型コロナウイルス感染症に係る規制が緩和されたことで人流が増え、犯罪認知件数は昨年に比べ微増であったが、5年間の推移と比較すると減少傾向にあり、防犯組合等による積極的な防犯パトロールが犯罪防止に繋がっていると考えられるため。
	(課題・問題点) 安心で安全なまちづくりには、自主防犯団体による防犯パトロールが重要となるので、団体数を増やすための取り組みが必要となる。

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	地域の防犯活動を男女が共に担うため、防犯組合・自治会等との連携や、市公式ウェブサイト・広報もばら・生活安全だより(旧防犯ボックスだより)等を活用した広報活動により、参加の促進を図る。

CHECK (評価)	【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等		
	<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 防犯パトロールにおいて女性の参加が見られなかった。		
	(課題・問題点) 地域防犯活動において女性が担える役割を明確化し、周知参加を図る。		
	<b>重点評価事業</b>		
	【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	<b>項目評価基準</b>	<b>評価</b>	<b>【項目評価基準】</b>
	(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	<b>3</b>	4…十分達成している 【90%以上】
	(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか	<b>3</b>	3…概ね達成されている 【70%以上】
	(c) 課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	<b>3</b>	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d) 適切な数値目標が提示されているか	<b>3</b>	1…不十分である 【50%未満】	
総合評価とその判定理由			
<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)	
防犯パトロールにおいて女性の参加が見られなかった。			
改善策等の提言			
男女が共に担う地域防犯力が高まる方策を提案されたい。パトロールに出られなくても女性の意見を聞くことは必要。会議に女性の参画を。			



茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	43	基本目標	Ⅳ 誰もが安心して暮らせる環境づくり
事業名	自らの健康を自ら管理する意識づくりについての啓発	主要課題	Ⅳ-2 健やかに安心して暮らせる環境の整備
課係名	健康管理課	施策の方向	(1)生涯を通じた健康支援

A C T (改善)	R3年度末における次年度における取り組み(予定) ※R3年度報告書より再掲
	各種検診について、市公式ウェブサイトや広報の他、自治会を通じて「各種検診のお知らせ」を毎戸配布する等周知に努めるとともに検診会場・市民健康講座・出前講座等におけるPR等、あらゆる機会を活用し健康についての意識啓発及び受診勧奨に取り組む。また、同時受診の拡充による利便性の向上及び未受診者への個別勧奨・再勧奨等により受診率の向上を図る。

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画
	疾病の早期発見を目的とした各種健(検)診の受診勧奨と健康相談、健康教育など疾病予防に向けた保健事業を推進します。また、女性特有のがんの早期発見及び受診率が低い男性への啓発を図ることで、男女共に生涯健康でいられる社会づくりに努めます。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標
	・がん検診の周知・啓発回数 年1回以上 ・がん検診の受診率 肺がん20%、胃がん15%、大腸がん25%、子宮がん35%、乳がん40%
D O (実施)	R4年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入
	①4月1日現在年齢40歳の者に対して、市が行う各種検診の個別勧奨を実施。 ②前回の検診受診者に対して、申込み無しで受診票を自動的に送付。 ③子宮頸がん検診:4月1日現在年齢20歳全員及び25・30・32・34・36・38歳の検診未受診者に対して無料クーポン券による受診勧奨を実施するほか、個別検診を実施し、受診者のアクセスを拡充。 ④乳がん検診:4月1日現在年齢40歳全員及び45・50・55・60歳の検診未受診者に対して無料クーポン券による受診勧奨を実施するほか、個別検診を実施し、受診者のアクセスを拡充。 ⑤「各種検診のお知らせ」を自治会配布。広報・公式ウェブサイト・Facebook・公共施設でのポスター掲示により周知。 ⑥他事業や出前講座等の機会を活用した身近な場所での女性がん検診の啓発及び健康教育の実施。

D O (実施)	R4年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 有 ・ 無 )				
	内容	回数	参加者数(男女別)		
	①②③④⑤計画通り実施できた。 ⑥乳幼児相談・健診事業の際に、女性がん検診の啓発資料を配付した。				
	R4年度の数値成果	R3(参考)	R5(参考)	R6(参考)	R7(参考)
	・がん検診の周知・啓発回数 20回(⑤広報⑥相談・健診) ・がん検診の受診率 肺がん10.4%、胃がん3.7%、大腸がん7.5%、子宮頸がん12.8%、乳がん18.8%(令和5年1月末時点)	・5回 ・肺がん10.5%、胃がん3.9%、大腸がん7.5%、子宮頸がん12.4%、乳がん17.8%			
R4予算額(千円)	R4決算見込額	R5予算額			
100,077	84,285	89,323			

C H E C K (評価)	【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点
	<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) <input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) <input type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠)昨年度に引き続き、コロナ禍による検診実施体制や講座開催の制限があったものの、可能な範囲での受診勧奨や啓発を昨年度以上に積極的に実施し、成果を上げることができた。 (課題・問題点)男女共に、コロナ禍におけるがん検診の受診率の低下が見られるため、今後も感染症対策を講じつつ、これまで以上に積極的な勧奨を実施し、受診率の増加及び継続的な受診につなげることが重要である。

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	各種健(検)診について、広報やウェブサイトをより活用して、あらためて健(検)診の必要性を訴え、受診方法等について周知を図る。男女共同参画に資するべく、可能な限り受診勧奨の機会を増やし、行動経済学を受診勧奨策に取り入れるなどしながら、特に女性特有のがんや受診率の低い男性に向けた啓発を行う。

CHECK (評価)	【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等		
	<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	<p>(評価の根拠)周知の啓発回数は昨年より増えたが、受診率の向上には繋がらなかった。</p> <p>(課題・問題点)検診の周知だけでなく、受診することの必要性を周知に努める。</p>		
	<b>重点評価事業</b>		
	【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	項目評価基準	評価	【項目評価基準】
	(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している 【90%以上】
	(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【70%以上】
	(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
	(d)適切な数値目標が提示されているか	3	1…不十分である 【50%未満】
総合評価とその判定理由			
<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)	
<p>検診の実施や周知・啓発も概ねできている。しかしながら、受診率の向上には繋がらなかった。 改善策が具体的に提起されている。</p>			
改善策等の提言			
<p>市での検診が「がん」に特化していることを周知してはどうか。無料クーポンを発行していることや各種検診がどれほど安い かという積極的PRや、早期発見の利点を強調して広報してはどうか。</p>			

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	44	基本目標	Ⅳ 誰もが安心して暮らせる環境づくり
事業名	人生の各段階に応じた健康相談と家庭訪問の実施	主要課題	Ⅳ-2 健やかに安心して暮らせる環境の整備
課係名	健康管理課	施策の方向	(1)生涯を通じた健康支援

A C T (改善)	R3年度末における次年度における取り組み(予定) ※R3年度報告書より再掲
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症対策を講じながら実施ができるよう教室や事業の内容を見直し、あらゆる世代の人々の健康の維持増進を図る。</li> <li>・孤立化しやすい妊産婦に対しては、オンライン等を活用しながら相談業務を充実させ、不安軽減を図る</li> </ul>

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画
	生涯健康に関して安心して過ごせるよう、妊娠期から高齢期の各々の状態に応じた健康相談や家庭訪問を行います。困難事例に対しては、他団体・他機関と連携し、支援します。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標
	R4年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入
	<ul style="list-style-type: none"> <li>①妊娠から出産まで一貫した母子保健サービスを地区担当保健師を中心として実施する</li> <li>②生涯を通じ、自己の健康を適切に管理・改善するための健康教育・健康相談を行う</li> <li>③電話・面接・家庭訪問を通じてあらゆる世代の人々への健康支援を推進する</li> </ul>

D O (実施)	R4年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 有 ・ 無 )			
	内容	回数	参加者数(男女別)	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1)助産師相談</li> <li>(2)ままのわ、ままのわミニセミナー</li> <li>(3)ままのわオンラインセミナー(離乳食編・卒乳編)</li> <li>(4)出前講座</li> <li>(5)いきいきサロン・長寿会</li> <li>(6)健幸フライデー</li> <li>(7)思春期教室</li> <li>(8)定例栄養相談</li> <li>(9)定例歯科相談</li> <li>(10)電話</li> <li>(11)面接</li> <li>(12)訪問</li> <li>(13)オンライン相談(個別相談時)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1)10回</li> <li>(2)15回</li> <li>(3)6回</li> <li>(4)8回</li> <li>(5)8回</li> <li>(6)12回</li> <li>(7)12回</li> <li>(8)12回</li> <li>(9)12回</li> <li>(10)随時</li> <li>(11)随時</li> <li>(12)随時</li> <li>(13)0回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1)女:21人/男:9人</li> <li>(2)女:155人/男:1人</li> <li>(3)女:13人/男:0人</li> <li>(4)200人</li> <li>(5)女:148人/男:71人</li> <li>(6)女:200人/男:28人</li> <li>(7)955人(保護者・教員含)</li> <li>(8)女:101人/男13人</li> <li>(9)女:12人/男3人</li> <li>(10)1300件(推計)</li> <li>(11)627件(推計)</li> <li>(12)434件(推計)</li> <li>(13)女:0人/男0人</li> </ul>	
R4年度の数値成果	R3(参考)	R5(参考)	R6(参考)	R7(参考)
R4予算額(千円)	R4決算見込額	R5予算額		
682	374	569		

C H E C K (評価)	【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点
	<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) <input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) <input type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 感染症対策を講じたうえで事業を実施した。実施や依頼数も増加傾向にあるが、新型コロナウイルス感染症発生前の件数には及ばない。母子事業については、昨年度から集団への参加数が増加し、電話・面接・訪問数は減少傾向にあるが、歯科・栄養相談(定例歯科・栄養相談日を除く)の件数を含めると個別相談数は増加傾向にある。令和2年度からオンラインを活用した教室や相談事業を導入し、受講者が安心して参加できる環境を整えることができた(令和4年度はオンライン個別相談件数はなかったが、セミナーのオンデマンド配信等でオンラインを活用した)。また、電話や訪問などで連絡が取れない支援者に対し、SNSを活用し、連絡が取れるように工夫した。比較的若い層へのアプローチがしやすくなっている。 (課題・問題点) 新型コロナウイルス感染症の影響により、妊産婦から成人・高齢者含め、あらゆる世代の人々が孤立しやすい状況となっており、不安が高い傾向にある。また、コロナ禍により健康面だけではなく、経済困窮などが浮き彫りになる家庭を支援する機会が増え、他機関と連携する機会が増えた。オンラインで事業に参加した参加者には今後も電子申請を活用していきたい。

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症対策を講じながら実施ができるよう教室や事業の内容を見直し、あらゆる世代の人々の健康の維持増進を図る。</li> <li>・孤立化しやすい妊産婦に対しては、オンライン等を活用しながら相談業務を充実させ、不安軽減を図る</li> </ul>

CHECK (評価)	【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等		
	<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠)コロナ前の実績には達していないが、オンラインの活用など、さまざまな工夫を行っている。		
	(課題・問題点)ままのわについては男性も参加しやすい名称に検討する。男女問わず、各事業に参加してもらえるよう実施方法を工夫する。		
	<b>重点評価事業</b>		
	【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	<b>項目評価基準</b>	<b>評価</b>	<b>【項目評価基準】</b>
	(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	<b>3</b>	4…十分達成している 【90%以上】
	(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	<b>3</b>	3…概ね達成されている 【70%以上】
	(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	<b>3</b>	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか	<b>3</b>	1…不十分である 【50%未満】	
<b>総合評価とその判定理由</b>			
<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)	
コロナ禍の中、オンライン、オンデマンド配信、SNSの活用など工夫を重ねながら取り組んでいることは、高く評価できる。			
<b>改善策等の提言</b>			
定例栄養相談・歯科相談の件数が前年度に比べ極端に減少しているので、原因を調べ次年度の対策を検討されたい。 「ままのわ」の名称変更はぜひ検討されたい。 男女問わず各事業に参加してもらえるよう実施方法を工夫されたい。			

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	45	基本目標	Ⅳ 誰もが安心して暮らせる環境づくり
事業名	市民参加の健康づくりの推進	主要課題	Ⅳ-2 健やかに安心して暮らせる環境の整備
課係名	健康管理課	施策の方向	(1)生涯を通じた健康支援

A C T (改善)	R3年度末における次年度における取り組み(予定) ※R3年度報告書より再掲
	次年度は、3年任期の3年目であるが、今年度も計画どおりに事業を実施することができなかった。そのため、来年度も知識と技術の習得ができるよう、充実した内容の研修を計画する。また、推進員同士の親睦を図りながら、活動の意義を見出し、自主的な活動が行われるように支援する。研修会10回、普及活動21回を予定。

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画
	市民が自主的に健康管理に努め、市民参加型の健康づくりを推進するため、地区組織である健康生活推進員の育成に努めます。健康生活推進員により、児童から高齢者までさまざまなライフステージを対象とした健康づくり料理教室、食育教室、運動教室、ウォーキング教室等を開催し、正しい健康知識の普及活動を積極的に行います。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標
	・健康教室等の開催回数 年110回以上 ・健康教室等の参加者数 年1,100人以上
	R4年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入
	①「グー・パー食生活と運動習慣の定着で健康づくり」を活動目標に、健康生活推進員としての知識と技術を習得する為の研修会を10回/年実施する。 ②運動・ウォーキング教室15回、料理教室2回、食育教室4回の普及活動をとおして、習得した知識と技術を普及し、市民の健康づくりをサポートする。

D O (実施)	R4年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 有 ・ 無 )				
	内容		回数	参加者数(男女別)	
	①健康もばら21で示されている目標項目「グー・パー食生活」という言葉を知っている者の割合の増加を推進するために、健康生活推進員としての知識と技術を身につける研修会を実施。		①10回	①従事推進員数324人(男68人、女256人)	
	②普及活動として、ウォーキング教室、運動教室、栄養調理教室等を開催。(打ち合わせや準備含む)		②63回	②参加者数154人(男41人、女113人) 従事者推進員283人(男29人、女254人)	
	③市主催健康教室(健幸フライデー)、フレイル予防講演会、地域社会福祉協議会、百歳体操の会への協力。(打ち合わせや準備含む)		③18回	③従事推進員数62人(男8人、女54人)	
	R4年度の数値成果		R3(参考)	R5(参考)	R6(参考)
・健康教室等の開催回数 27回 ・健康教室等の参加者数 448人		・26回 ・391人			
R4予算額(千円)		R4決算見込額		R5予算額	
630		630		490	

C H E C K (評価)	【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点
	<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) <input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) <input type="checkbox"/> C:事業や見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠)新型コロナウイルス感染症が感染拡大傾向となった時期(7、8月)以外は、計画通りの活動を行う事が出来た。同時に料理レシピサイト「クックパッド」へのレシピを定期的に掲載、市制施行70周年を記念して「今夜のおかずレシピ集」を発行し市内関係機関に配布するなど幅広い世代に健康づくりの知識を普及する事が出来た。(課題・問題点)開催した教室は、募集早期に満員となる回が多く見られた。特に調理実習を伴う「栄養調理教室・千葉の魚のさばき方」では、教室参加者の半数が男性参加者となり積極的な参加が見られた。

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	次年度は、3年任期の1年目であるため、茂原市の健康課題を理解し健康もばら21の施策に沿った研修会を開催する。更なる推進員の知識と技術の習得に努める。推進員の親睦を図りながら、男性推進員の活躍の場と男性教室参加者の増加を目指し、活動が自主的に行えるように支援する。研修会6回、普及活動8回を予定。

CHECK (評価)	【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等		
	<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	<p>(評価の根拠) 数値的目標を達成していないが、レシピサイトの活用など様々な工夫が見られた。</p> <p>(課題・問題点) より多くの人に参加できるよう、教室開催の開催方法を工夫する。</p>		
	<b>重点評価事業</b>		
	【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	<b>項目評価基準</b>	<b>評価</b>	<b>【項目評価基準】</b>
	(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	<b>3</b>	4…十分達成している 【90%以上】
	(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか	<b>3</b>	3…概ね達成されている 【70%以上】
	(c) 課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	<b>3</b>	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
	(d) 適切な数値目標が提示されているか	<b>2</b>	1…不十分である 【50%未満】
<b>総合評価とその判定理由</b>			
<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)	
<p>健康生活推進委員が積極的に地域社会の中で活動していると評価する。様々な工夫がみられた。</p>			
<b>改善策等の提言</b>			
<p>開催した教室は募集早期に満員となる回が多くみられ、人気のあった「調理教室」など男性参加も多かった旨記載されているので、ぜひ次期では回数を増やして(予算も増やして)多くの人に参加できるよう工夫されたい。</p>			

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	46	基本目標	IV 誰もが安心して暮らせる環境づくり
事業名	スポーツを通じての健康増進	主要課題	IV-2 健やかに安心して暮らせる環境の整備
課係名	体育課	施策の方向	(1)生涯を通じた健康支援

A C T (改善)	R3年度末における次年度における取り組み(予定) ※R3年度報告書より再掲
	今年度実施できた事業に加え、他の事業について、このコロナ禍においてもできるだけ実施できる方策を検討していく。また、国や県の取り組みや、民間のイベント等周知できるものは積極的に周知する。

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画
	生涯スポーツの観点に立ち、市民誰もが参加できるスポーツ・レクリエーションの普及に努めます。また、市民がスポーツによる楽しさや爽快感と市民相互の連帯感の醸成などの精神的充足感を得ることができるよう、事業の充実に努めます。開催にあたっては、土日や夜間に開催するなど、男女が共に参加しやすい機会の確保に努めます。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標
	・スポーツ・レクリエーション教室等の開催回数 年140回以上 ・スポーツ・レクリエーション教室等の参加者数 年8,000人
D O (実施)	R4年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入
	①コロナ禍のため、事業実施についての検討を十分行った上で、できる限り茂原市スポーツ推進計画の基本理念「市民ひとり1スポーツ」に基づいた事業を開催し、年齢や性別を問わず誰もが気軽にスポーツを実施する機会を構築する。 ②競技性のあるスポーツに限らず、健康づくりや体力づくりを主とした事業を実施するため関係部署と連携を図る。

D O (実施)	R4年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> )					
	内容		回数	参加者数(男女別)		
	各種スポーツイベントの開催・実施 ①R4.10.10もばらタッチバレーボール千葉県大会開催②R5.3.5茂原市スポレク祭タッチバレーボール体験会開催③R4.6.19体力・運動能力調査「大人のスポーツテスト2023」実施④R4.10.12、13、14スーパーキッズ育成カレッジ実施⑤R4.6.12、18、26、7.2、R5.2.11、19、25レッツ・エンジョイスポーツ、R4.6.18、9.10、11.20、R5.2.18レッツ・エンジョイウォーキング実施 各種スポーツ・レクリエーション教室の開催 ⑥パラスポーツ教室開催⑦茂原スポーツフェスティバル茂原市ジュニアバレーボール教室開催⑧市主催ダンス教室開催		①1回 ②1回 ③1回 ④6回⑤11回⑥10回⑦1回 ⑧1回	①192人(男93人、女99人) ②112人(男46人、女66人) ③20人(男9人、女11人) ④200人(男女別不明) ⑤215人(男87人、女128人) ⑥344人(男女別不明) ⑦188人(男35人、女153人) ⑧20人(男1人、女19人)		
	R4年度の数値成果		R3(参考)	R5(参考)	R6(参考)	R7(参考)
	・スポーツ・レクリエーション教室等の開催回数 32回 ・スポーツ・レクリエーション教室等の参加者数 1,291人		・6回 ・350人			
	R4予算額(千円)		R4決算見込額		R5予算額	
7,525		5,968		7,353		

C H E C K (評価)	【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点
	<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) <input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) <input type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠)参加人数の制限等のイベントの規模縮小や消毒の徹底など、新型コロナウイルス感染症感染防止対策を講じた上ではあるが、多くの事業が実施できた。また、参加者アンケートにおいても高い満足度を得ることができた。 (課題・問題点)スポーツをするきっかけづくりとなる取り組みが必要と考える。市主催教室の開催内容等の検討と、気軽にスポーツを体験できる場の提供を行っていきたい。

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	幅広い年齢層を対象とした市主催教室の開催と、レッツ・エンジョイスポーツや他のスポーツイベント等で体験会を開催し、スポーツをするきっかけづくりに力を入れていく。

CHECK (評価)	【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等			
	<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)	
	(評価の根拠) 数値目標は達成していないが、教室の開催回数、参加者数は昨年より増えている。			
	(課題・問題点) 教室等の開催回数を増やすとともに積極的な周知を図る。			
	<b>重点評価事業</b>			
	【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点			
	項目評価基準		評価	【項目評価基準】
	(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか		3	4…十分達成している 【90%以上】
	(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか		3	3…概ね達成されている 【70%以上】
	(c) 課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか		3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d) 適切な数値目標が提示されているか		3	1…不十分である 【50%未満】	
総合評価とその判定理由				
<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)		
コロナ禍の中、多くの事業を実施でき、参加者数も増えている。				
改善策等の提言				
担当課による次年度における取組予定を実施されたい。 男女年齢関係なくこころも身体も健康であるためのスポーツ・レクリエーション教室の開催は継続し、よりPRをされたい。				



茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	47	基本目標	IV 誰もが安心して暮らせる環境づくり
事業名	安心して妊娠・出産するための支援	主要課題	IV-2 健やかに安心して暮らせる環境の整備
課係名	健康管理課	施策の方向	(2)安心して妊娠・出産できる環境づくり

A C T (改善)	R3年度末における次年度における取り組み(予定) ※R3年度報告書より再掲
	引き続き、助産師を2名体制とし、妊娠期よりきめ細やかな相談支援を行い、子どもを望む助成対象となる夫婦に対して正確な情報を提供することに努め、安心して妊娠・出産・子育てができるように支援していく。

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画
	産前産後サポートセンター(母子健康包括支援センター)を中心に、安心して妊娠・出産・育児ができるように切れ目のない支援を行います。また、妊婦健康診査の自己負担金の一部助成のほか、子どもを望む家庭に対し不妊治療費の一部助成を行い、経済的な負担軽減を図ります。
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標
	・健やか親子21アンケート調査(乳児相談時)で「今後もこの地域で子育てをしていきたい」と回答した市民の割合 91.5%以上 ・特定不妊治療費助成決定件数 年25件以上
	R4年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入
	①妊娠届出時に助産師あるいは保健師が面接し、安心して妊娠・出産・子育てができるように切れ目のない支援を行う。 ②特定不妊治療費から「千葉県特定不妊治療費助成事業による助成額」を差し引いた金額について、10万円を上限として助成する。 ③男性不妊治療(精巣内精子回収術等)を必要とする方について、治療費から「千葉県特定不妊治療費助成事業による助成額」を差し引いた金額について、10万円を上限として助成する。 ④男性不妊検査に係る費用を1万円を上限として助成する。

D O (実施)	R4年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 有 ・ 無 )				
	内容	回数	参加者数(男女別)		
	①妊娠届出時の助産師あるいは保健師による全数面接:452件 ②特定不妊治療費助成:23件 ③男性不妊治療費助成(精巣内精子改修術等)助成決定件数:0件 ④男性不妊検査費助成:2件 ※②～④については、広報もばら、市公式ウェブサイトにて制度の周知を行った。また、県の助成窓口である長生健康福祉センター(長生保健所)にチラシの設置をした。				
	R4年度の数値成果	R3(参考)	R5(参考)	R6(参考)	R7(参考)
	・健やか親子21アンケート調査(乳児相談時)で「今後もこの地域で子育てをしていきたい」と回答した市民の割合 91.0% ・特定不妊治療費助成決定件数 25件	91.4% 61件			
R4予算額(千円)	R4決算見込額	R5予算額			
11,200	9,824	9,290			

C H E C K (評価)	【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点
	<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) <input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) <input type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠)①については、助産師を8月より2名体制とし、よりきめ細やかな相談支援ができ、各種事業を活用し、切れ目のない支援ができています。②については、数値目標を概ね達成できた。 (課題・問題点)不妊に悩む夫婦が経済的な理由で子どもを持つことを諦めることの無いよう、引き続き制度の周知を行う。

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	引き続き、助産師を2名体制とし、妊娠期よりきめ細やかな相談支援を行い、子どもを望む助成対象となる夫婦に対して正確な情報を提供することに努め、安心して妊娠・出産・子育てができるように支援していく。

CHECK (評価)	【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等		
	<input checked="" type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) <input type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) <input type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)		
	(評価の根拠)きめ細やかな相談支援等により、数値目標が概ね達成されている。 (課題・問題点)引き続き相談支援体制を充実させ、茂原市で子育てをしやすい環境づくりに努める。		
	<b>重点評価事業</b>		
	【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	<b>項目評価基準</b>	<b>評価</b>	<b>【項目評価基準】</b>
	(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	<b>4</b>	4…十分達成している 【90%以上】
	(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	<b>3</b>	3…概ね達成されている 【70%以上】
	(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	<b>3</b>	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
	(d)適切な数値目標が提示されているか	<b>3</b>	1…不十分である 【50%未満】
総合評価とその判定理由			
<input checked="" type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) <input type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) <input type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)			
推進委員会に同じ。			
改善策等の提言			
今後はSNS の活用も図られたい。 子育てしやすい茂原のイメージが継続されるよう、なお一層の相談支援に努められたい。			

茂原市男女共同参画計画(第4次)に係る事業評価シート

事業No.	48	基本目標	IV 誰もが安心して暮らせる環境づくり
事業名	妊娠期の健康管理・育児に関する学習機会の提供	主要課題	IV-2 健やかに安心して暮らせる環境の整備
課係名	健康管理課	施策の方向	(2) 安心して妊娠・出産できる環境づくり

A C T (改善)	R3年度末における次年度における取り組み(予定) ※R3年度報告書より再掲
	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、1コース3回で4コース(平日2コース、土曜日2コース)実施する。</li> <li>次年度は、新型コロナウイルス感染症対策として、緊急事態宣言中やまん延防止重点措置期間中の教室について、講義は動画の期間限定配信、実技は沐浴体験と調乳・授乳の姿勢体験のみとする。短時間、少人数制で開催し、子どもの健やかな成長を育むための環境づくりを妊娠期に構築できるよう支援していきたい。</li> </ul>

P L A N (計画)	第4次計画に定められた具体的取り組み計画
	<p>妊娠期から夫婦で積極的に健康管理・育児の知識の普及と技術を習得する機会を提供することで、出産後育児が不安なく行われ、愛情を持って子どもを養育できるよう「ママ・パパ教室」を実施します。開催にあたっては、父親も参加しやすいよう土曜日にも実施します。</p>
	第4次計画(R3年度～R7年度)に定められた数値目標
	<ul style="list-style-type: none"> <li>ママ・パパ教室の初妊婦参加率 50%</li> <li>ママ・パパ教室のパートナー参加率 70%</li> </ul>
	R4年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入
	<p>母子保健法第9条により、市内在住の妊婦およびその家族に対し妊娠・出産・育児について正しい知識の普及を行う。</p> <p>①1コース3回で全4コース実施する(平日開催、土曜開催それぞれ2コースずつ)。</p> <p>1回目: 出産準備編…妊娠・陣痛・お産中の時の過ごし方、パパが行う陣痛時のマッサージ体験、歯・栄養の話(歯科衛生士・栄養士) 他</p> <p>2回目: 沐浴・妊婦体験編…赤ちゃんのお風呂入れ体験、パパ“カ”アップミニ講座 他</p> <p>3回目: 授乳・抱っこ・ふれあい遊び体験編…母乳育児の話・調乳(ミルク作り)体験、赤ちゃんの抱っこ・ふれあい遊び体験 他</p> <p>②新型コロナウイルス感染症対策として、緊急事態宣言中やまん延防止重点措置期間中の教室について、講義は動画の期間限定配信、実技は沐浴体験と調乳・授乳の姿勢体験のみとする。短時間、少人数制で開催し、子どもの健やかな成長を育むための環境づくりを妊娠期に構築できるよう支援していく。</p>

D O (実施)	R4年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 有 ・ 無 )				
	内容		回数	参加者数(男女別)	
	<p>○1コース3回で4コース実施</p> <p>1回目: 出産準備編、2回目: 沐浴・妊婦体験編、3回目: 授乳・抱っこ・ふれあい遊び体験編</p> <p>○新型コロナウイルス感染症拡大防止対策</p> <p>前年度のコロナ禍での教室開催状況をもとに、定員数を1回目12組・2回目8組・3回目9組に設定した。</p> <p>前年度同様参加希望者は多く、どの回も定員を超えて申込みがあった。定員を超えた参加希望者については、助産師相談や個別対応を案内した。特に、4コース目の2・3回目の希望者が多く、臨時回(沐浴・調乳体験)を2回設けた。</p>		<p>1・3コースは平日開催</p> <p>2・4コースは土曜日開催</p> <p>臨時回2回</p>	<p>1回目: 35人(妊婦)、28人(夫)、1人(その他)</p> <p>2回目: 30人(妊婦)、26人(夫)、1人(その他)</p> <p>3回目: 27人(妊婦)、21人(夫)、1人(その他)</p> <p>臨時回: 12人(妊婦)、10人(夫)</p>	
	R4年度の数値成果		R3(参考)	R5(参考)	R6(参考)
<ul style="list-style-type: none"> <li>ママ・パパ教室の初妊婦参加率 54.3%</li> <li>ママ・パパ教室のパートナー参加率 84.8%</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>24.2%</li> <li>83.3%</li> </ul>			
R4予算額(千円)		R4決算見込額		R5予算額	
132		68		129	

C H E C K (評価)	【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点
	<p><input type="checkbox"/> A: 十分な成果を上げた (達成度8割以上)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> B: ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)</p> <p><input type="checkbox"/> C: 事業の見直しが必要 (達成度3割以下)</p>
	<p>(評価の根拠)</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策として定員数を引き続き設けたため、参加できない方に臨時回を設けて対応した。初妊婦参加率は目標値を超え、初産婦にとって教室の需要が高いことがわかる。また、パートナーの参加率も年々上昇しており、夫婦で協力して子育てができるよう準備する姿勢を持つ方が多いと考えられる。土曜日開催の3回目に参加した夫の満足度が高く、夫同士の交流に需要があることがわかった。</p> <p>(課題・問題点)</p> <p>夫婦で妊娠・出産・育児について考える機会を持てるよう、夫同士の交流会を年2回から4回へ増やしたい。より多くの参加希望者を受け入れられるよう定員数を増やしていきたい。</p>

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	<ul style="list-style-type: none"> <li>3回1コースで4コース実施(平日2コース、土曜日2コース)実施する。</li> <li>1回目: 出産準備編…妊娠・陣痛・お産中の時の過ごし方、パパが行う陣痛時のマッサージ体験、歯・栄養のお話(歯科衛生士・栄養士) 他</li> <li>2回目: 沐浴・妊婦体験編…赤ちゃんのお風呂入れ体験、パパが行う臨月の重さ体験、パパ“カ”アップミニ講座 他</li> <li>3回目: 授乳・ミルク作り体験編…母乳育児の話、調乳(ミルク作り)体験、ママ・パパの質問回答コーナー、「笑っている父親になろう」講義 他</li> <li>次年度は、1回目を12組→16組、2回目8組→16組、3回目9組→12組へ定員数を増やし、より多くの希望者に子どもの健やかな成長を育むための環境づくりを妊娠期に構築できるよう支援していく。</li> </ul>

CHECK (評価)	<b>【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等</b>		
	<input checked="" type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)
	<p>(評価の根拠) 定員を超えた希望者について臨時会を設けるなど、積極的な対応により数値的目標を達成した。</p> <p>(課題・問題点) より多くの希望者が参加できるよう開催数や定員の調整を図る。</p>		
	<b>重点評価事業</b>		
	<b>【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点</b>		
	<b>項目評価基準</b>	<b>評価</b>	<b>【項目評価基準】</b>
	(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	<b>4</b>	4…十分達成している 【90%以上】
	(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか	<b>3</b>	3…概ね達成されている 【70%以上】
	(c) 課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	<b>4</b>	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
	(d) 適切な数値目標が提示されているか	<b>4</b>	1…不十分である 【50%未満】
<b>総合評価とその判定理由</b>			
<input checked="" type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の見直しが必要 (達成度3割以下)	
<p>推進委員会に同じ。</p>			
<b>改善策等の提言</b>			
<p>次年度に向けた目標が明確に記載されている。参加希望者多数になった場合の体制も強化し、引き続ききめ細かい事業の展開を望む。</p>			